

# 百寺巡礼

長年の趣味の一つ、古寺巡礼。どうまとめようかと思っていたが、丁度リタイアの機に五木寛之の「百寺巡礼」のシリーズ（10冊）を読み始めた。奈良や、京都については、既に何度も訪れた大好きな寺も含まれているが他にも良いお寺があるのにと不満もつもの。ただ、このシリーズは全国的に宗派にこだわらないで選んでいるのが良い。この夏、第四巻の滋賀・東海を読んでいる最中に大津に行く機会があった。三井寺に行ってみることにした時、思いついた。これからこの百寺を追おう、と。(July, 2010)

奈良	室生寺 (奈良)	長谷寺 (奈良)	薬師寺 (奈良)	唐招提寺 (奈良)	秋篠寺 (奈良)
	法隆寺 (奈良)	中宮寺 (奈良)	飛鳥寺 (奈良)	当麻寺 (奈良)	東大寺 (奈良)
北陸	阿岸本誓寺 (石川)	妙成寺 (石川)	那谷寺 (石川)	大乘寺 (石川)	瑞龍寺 (富山)
	瑞泉寺 (富山)	永平寺 (福井)	吉崎御坊 (福井)	明通寺 (福井)	神宮寺 (福井)
京都 I	金閣寺 (京都)	銀閣寺 (京都)	神護寺 (京都)	東寺 (京都)	真如堂 (京都)
	東本願寺 (京都)	西本願寺 (京都)	浄瑠璃寺 (京都)	南禅寺 (京都)	清水寺 (京都)
滋賀 ・東海	三井寺 (滋賀)	石山寺 (滋賀)	延暦寺 (滋賀)	西明寺 (滋賀)	百濟寺 (滋賀)
	石塔寺 (滋賀)	横蔵寺 (岐阜)	華厳寺 (岐阜)	専修寺 (三重)	永保寺 (岐阜)
関東 ・信州	浅草寺 (東京)	増上寺 (東京)	築地本願寺 (東京)	柴又帝釈天 (東京)	成田山 (千葉)
	建長寺 (神奈川)	円覚寺 (神奈川)	高德院 (神奈川)	久遠寺 (山梨)	善光寺 (長野)
関西	高野山 (和歌山)	青岸渡寺 (和歌山)	道成寺 (和歌山)	粉河寺 (和歌山)	観心寺 (大阪)
	弘川寺 (大阪)	鶴林寺 (兵庫)	龜山本徳寺 (兵庫)	大念仏寺 (大阪)	四天王寺 (大阪)
東北	山寺 (山形)	中尊寺 (岩手)	毛越寺 (岩手)	黒石寺 (岩手)	瑞巖寺 (宮城)
	勝常寺 (福島)	白水阿弥陀堂 (福島)	本山慈恩寺 (山形)	長勝寺 (青森)	恐山 (青森)
山陰 ・山陽	三仏寺 (鳥取)	大山寺 (鳥取)	清水寺 (島根)	一畑薬師 (島根)	永明寺 (島根)
	東光寺 (山口)	瑠璃光寺 (山口)	阿弥陀寺 (山口)	浄土寺 (広島)	明王院 (広島)
京都 II	三千院 (京都)	知恩院 (京都)	二尊院 (京都)	相国寺 (京都)	万福寺 (京都)
	永観堂 (京都)	本法寺 (京都)	高台寺 (京都)	東福寺 (京都)	法然院 (京都)
四国・九州	観世音寺 (福岡)	梅林寺 (福岡)	善通寺 (香川)	霊山寺 (徳島)	興福寺 (長崎)
	崇福寺 (長崎)	本妙寺 (熊本)	人吉別院 (熊本)	富貴寺 (大分)	羅漢寺 (大分)

(\*)太字は本企画前に行ったことのあった寺。黄色はこの企画で訪れた寺。

## 87. 観心寺 (かんしんじ)

- (1) 住所： 大阪府河内長野市寺元 475
- (2) 高野山真言宗 檜尾山(ひのおざん)観心寺
- (3) 百寺巡礼： 第六巻 第五十五番
- (4) 参拝日： 2023年11月9日
- (5) 写真：



山門



金堂



美しい建掛塔



銀杏もしっかり色づいて



楠木正成首塚



「檜の寺」とも

- (6) ポイント：
  - － 河内長野駅からバスで。凄く奥に入っていくように思えたが実はその先に大きな団地がある様子。
  - － 「南海高野線」は高野山に連れて行ってくれる。真言宗・空海の流れ。
  - － 2年ぶりの百寺巡礼。コロナ禍は長かった。
  - － 真言宗の大きなお寺。如意輪観音が有名だが、秘仏。
- (7) 感想：
  - － 次兄宅が近くいつでもお参り可能と思っていたが兄は倒れて一緒には来れず。回復を祈る。
  - － 静かで温かい秋まっさかり。

## 86. 真如堂 (しんにょどう)

- (1) 住所： 京都府京都市左京区浄土寺真如町 82
- (2) 天台宗 鈴聲山(れいしょうざん) 真正極楽寺
- (3) 百寺巡礼： 第三巻 第二十五番
- (4) 参拝日： 2021年4月7日
- (5) 写真：



バス停から近い東参道は  
いわば裏口

本堂

庭の緑が美しい



こちらが正面・三重塔も



すぐ近く 金戒光明寺 本堂



大きな光明寺山門

(6) ポイント：

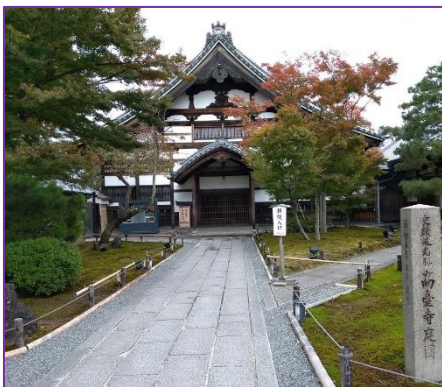
- 久しぶりの寺巡り。孫娘の「十三参り」で京都に来た機会に。
- 昔来た真如堂だが、何も覚えていなかった。50年以上昔。
- 正門にたどり着くのは交通の便が良くない。市バスを使ったら、裏口だった。
- 天台宗だが歴史的にも浄土宗の香りも。
- 大きな光明寺が近い。こんな巨大な寺が近くにあったか。

(7) 感想：

- 好天の春・京都、桜は散ってもう新緑。コロナもあって、人まばら。
- 足が不便な印象はあった。余計に静か。
- 桜や紅葉の時は別世界だろうけれど。

## 85. 高台寺 (こうだいじ)

- (1) 住所： 京都市東山区下河原通八坂鳥居前下る下河原町 526
- (2) 臨済宗建仁寺派 鷲峰山 高台寿聖禅寺 (高台寺)
- (3) 百寺巡礼： 第九巻 第八十八番
- (4) 参拝日： 2020年11月6日
- (5) 写真：



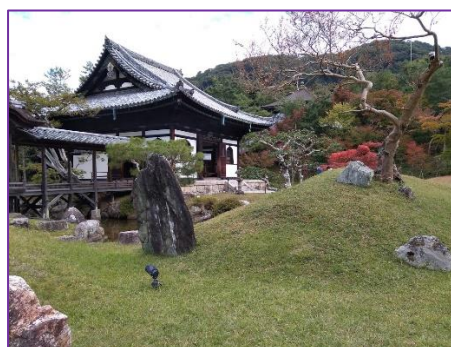
正面 (庫裏)



茶室 (遺芳庵)



方丈 (本尊)



開山堂



霊屋



傘亭 (茶室)

- (6) ポイント：
- － 何度も訪れたが、どうもお寺というより「ねね記念館」、「ねねの庭」の感。
  - － ここも紅葉の季節には観光客で一杯だろう。でも、今年はコロナ禍でどうか。
  - － 空いていたので、ゆっくり歩く。この庭は良い。
- (7) 感想：
- － 大阪にインタビューで出張。翌日は友人と次男と滋賀でゴルフ。コロナ禍の中とは思えない1日。
  - － 秀吉人気、ねね人気は根強い。底辺から這い上がっていく秀吉、それを支えたねね。

#### 84. 二尊院 (にそんいん)

- (1) 住所： 京都市右京区嵯峨二尊院門前長神町 27  
 (2) 天台宗 小倉山 二尊教院華台寺 (二尊院)  
 (3) 百寺巡礼： 第九巻 第八十三番  
 (4) 参拝日： 2020年10月31日  
 (5) 写真：



総門



紅葉の馬場 (少し早かった)



勅使門  
(唐門)



本堂

本尊(左:阿弥陀如来、右:釈迦如来)



京都市と東山を臨む



湛空上人廟



花手水

(6) ポイント：

- － 現世に救いを釈迦如来、来世に救いを阿弥陀如来。小さな二尊が神々しい。
- － 紅葉の頃ならベストだろうが、混雑も凄かろう。静かな二尊院。
- － 明治維新までは四宗（天台・真言・律・浄土）兼学の寺とか。風格のある大きなお寺。

(7) 感想：

- － 嵯峨野もここまでくるとひっそり。コロナの影響もあるのだろう。
- － 嵯峨野は知っているつもりだったがこのお寺は初めて。「二尊」が良い。

### 8 3. 知恩院 (ちおんいん)

- (1) 住所：京都市東山区 新橋通 大和大路 東入三丁目 林下町 400
- (2) 浄土宗 総本山 華頂山 知恩教院 大谷寺 (知恩院)
- (3) 百寺巡礼：第九巻 第八十二番
- (4) 参拝日：2020年10月3日
- (5) 写真：



三門 (国宝)



御影堂 (国宝：お経が響く)



方丈庭園



御影堂から経堂



京の街を臨む



勢至堂（発祥の地）

(6) ポイント：

- － 義満ルートで金閣の予定を、工事中と聞いて知恩院に。
- － 浄土宗はいつも通り、普段通りお勤め。上層部のための相国寺と庶民のための知恩院。
- － 法然の専修念仏。南無阿弥陀仏を唱えれば誰もが救われる。
- － とは言っても家康は大スポンサー。江戸時代に巨大な寺となった。

(7) 感想：

- － 何度も来たけれど今日は静か。お経の音が響いているのが心地よい。古都、京都。
- － いつもなら修学旅行生でいっぱい、だと思っけれど。

## 8.2. 相国寺（しょうこくじ）

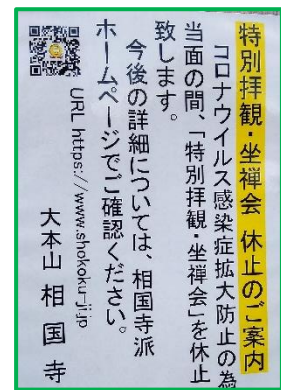
- (1) 住所： 京都市上京区今出川通烏丸東入相国寺門前町 701
- (2) 臨済宗 相国寺派大本山 萬年山 相国(承天禪)寺
- (3) 百寺巡礼： 第九巻 第八十四番
- (4) 参拝日： 2020年10月3日
- (5) 写真：



西側入口・隣は同志社大



法堂(静かな境内)



新型コロナで拝観休止  
 承天閣美術館も休み



法堂内部（天井の龍見えず）



浴室

(6) ポイント:

- 約1年ぶりの「百寺巡礼」。COVID-19騒ぎの最中。観光客もゼロ、静かな朝の寺。
- 往時は大きな寺。今は歩いて一回り。
- 足利義満の禅寺。気持ちも引き締まる。

(7) 感想:

- こんな時代に生きたのが驚き。2020年は新型コロナの年。半年間は自粛の毎日。漸く四国出張再開。
- 人人人の京都もひっそり。こんな時にこっそり(?)古都を歩く。いつもの外人さんたちもゼロ。
- 天が与えし、ゆっくりの時か。中は何も見えなかったけれど。
- 同志社大学が隣接。こんな良い場所の大学だったのだと。羨ましくもあった。

## 81. 萬福寺 (まんぷくじ)

(1) 住所: 京都府宇治市五ヶ庄三番割 34

(2) 黄檗宗大本山 黄檗山 萬福寺

(3) 百寺巡礼: 第九巻 第八十五番

(4) 参拝日: 2019年11月31日

(5) 写真:



総門



三門



境内の道



大雄宝殿



本尊 釈迦如来



京の秋の色

(6) ポイント:

- 臨済宗・曹洞宗に並ぶ禅宗、黄檗宗の大本山。大きな境内に驚く。
- インゲン豆の隠元禅師が多くの中国文化をもたらした。京都の大禅寺、風格と高貴さ。
- 庶民の寺というより、武士や文化人などの寺か。
- 普茶料理を味わう。これも「文化」、美術と言っても良い。美味しいというより美しい。

(7) 感想:

- 昔来たことがあった様に思っていたが間違い。兎に角大寺。歩くだけで良い散歩。
- 京都で、紅葉の時期で、話題の寺で、大混雑を予想していたが意外にひっそり。
- 天王殿と布袋様の写真、撮り忘れ。「弥勒菩薩」には見えなかった?

## 80. 岩船寺 (がんせんじ)

- (1) 住所： 京都府木津川市加茂町岩船上ノ門 43
- (2) 真言律宗 高雄山 報恩院 岩船寺
- (3) 百寺巡礼： 番外
- (4) 参拝日： 2019年11月2日
- (5) 写真：



浄瑠璃寺からのハイキングコース



本堂（中にどっしり、阿弥陀如来）



三重塔（菊と石楠花）

- (6) ポイント：
  - － 百寺巡礼には含まれないが、若い時から浄瑠璃寺と言えば岩船寺、とセットになっていた。
  - － 南京都地方の山中のハイキングコース。（多分）学生時代に歩いた。懐かしさ一杯。
  - － ひっそりと、でも本堂の中の阿弥陀如来は意外なほどの迫力。周りの四天王像も良い。
  - － コース内には多くの石仏群。自然の中の祈りの後。
  - － 道端に地域農家のお漬物の無人売店。「ひのな漬け」、1パック 100 円。美味しい。

## 79. 浄瑠璃寺 (じょうるりじ)

- (1) 住所： 京都府木津川市加茂町西小札場 40
- (2) 真言律宗 小田原山 浄瑠璃寺
- (3) 百寺巡礼： 第三巻 第二十八番
- (4) 参拝日： 2019年11月2日
- (5) 写真：



バス停から山門への道



本堂から庭園と三重塔を臨む



国宝 三重塔（薬師如来）



国宝 本堂 (九体阿弥陀堂)

(6) ポイント：

- － 住所は京都府だが奈良との境目。奈良からバスで行く。相当な山奥の地。
- － 西の本堂（九体阿弥陀堂）と東の三重塔（本尊薬師如来）が庭園・宝池を挟んで向かい合う。
- － 「九品往生」の九体阿弥陀仏が本堂に。現存するのは珍しいという。圧倒される迫力。
- － 秘仏・吉祥天女像も公開中。仏像で、これぞ女神。美しい、そして珍しい。
- － 三重塔の薬師如来も公開中。でも余り細かくは拝めず。

(7) 感想：

- － 昔、来たことはある。但し、20代の頃。仏像巡りに興味を持った頃。「大和古寺巡礼」か。
- － 岩船寺とセットで言わばハイキングコース。今でも意外にひっそり。
- － 好天で紅葉の兆しも。結局、百寺には含まれないが、岩船寺まで往復歩く。のんびり、ゆっくり。

## 78. 西明寺（さいみょうじ）

- (1) 住所： 滋賀県犬上郡甲良町大字池寺 26
- (2) 天台宗 龍応山（りゅうおうざん） 西明寺
- (3) 百寺巡礼： 第四巻 第三十四番
- (4) 参拝日： 2019年9月28日
- (5) 写真：



名勝 蓬萊庭



苔庭が美しい



国宝 三重塔



- (6) ポイント：
- － 鎌倉時代建立の本堂・三重塔。共に男らしく重い力強さ。
  - － 先に庭を見せる。やはり、本来は先に二天門、本堂、三重塔だろう。
  - － 苔の美しい庭。手入れも行き届いている。
- (7) 感想：
- － No14.で参拝した百濟寺にも立ち寄った。湖東三山の二つ。天台宗の力強さを感じる。
  - － 同じ三重塔なのだが、ここは重い感じ。薬師寺で感じる華麗さではない。
  - － 近江にも多くの寺院。往時の栄華を偲ばせる。
  - － 翌日、竹生島宝厳寺で、西国三十三か所結願。この百寺巡礼も終わらせたいが先は長い。

## 77. 石塔寺 (いしどうじ)

- (1) 住所： 滋賀県東近江市石塔町 860  
 (2) 天台宗 阿育王山 (あしよかおうざん) 石塔寺  
 (3) 百寺巡礼： 第四巻 第三十六番  
 (4) 参拝日： 2019年9月28日  
 (5) 写真：



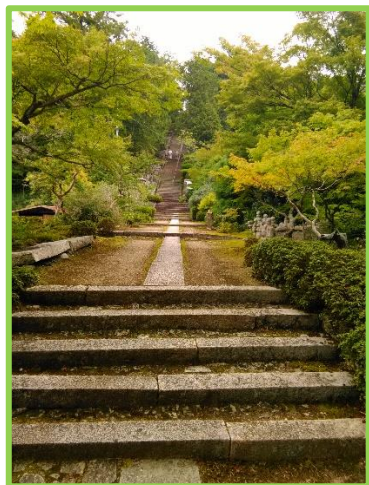
山門



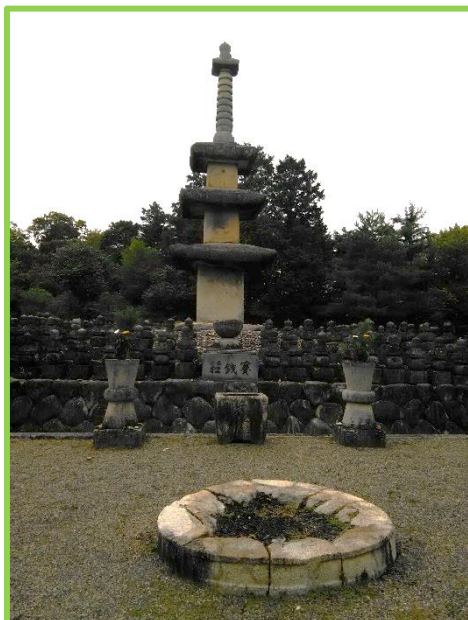
本堂



本尊：聖観音菩薩(秘仏)



石塔群への石段



石塔・石仏数万基

石造三重塔(阿育王塔)

(6) ポイント：

- ー 阿育王塔は日本最古の塔と言われる。
- ー 多数の石塔・石仏が集まる。
- ー 山門・本堂も花々に囲まれ、静かで美しい。

(7) 感想：

- ー 三十三か所結願のため竹生島参拝の前日。曇りだが雨は避けて。
- ー この石塔・石仏群には圧倒される。なぜここにこれ程・・・
- ー 本堂前のルコー草が美しかった。

## 76. 瑞龍寺 (ずいりゅうじ)

- (1) 住所： 富山県高岡市関本町 35  
(2) 曹洞宗 高岡山 瑞龍寺  
(3) 百寺巡礼： 第二巻 第十五番  
(4) 参拝日： 2019年6月2日  
(5) 写真：



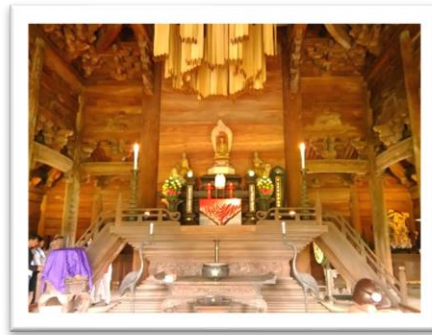
総門



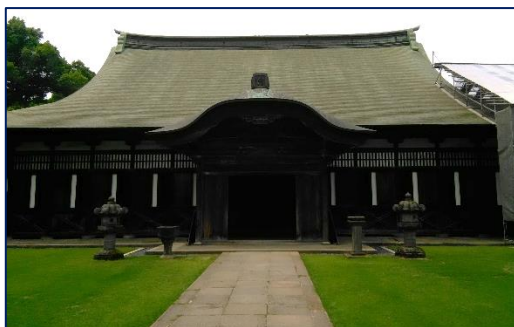
山門 (国宝)：柿葺き



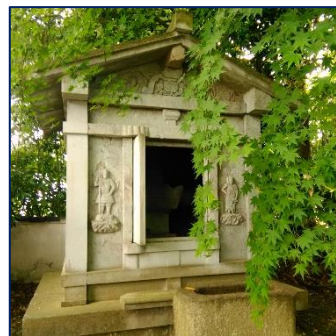
仏殿 (国宝)：鉛瓦葺き



釈迦如来・文殊菩薩・普賢菩薩の三像



法堂(国宝)：銅板葺き



前田利長石廟

(6) ポイント：

- ー 加賀前田百万石ゆかりの大寺。高岡城と共に建てられる。まるで城郭。
- ー 巨大な禅寺。総門、山門、仏殿、法堂が直線に配置されている。

- 境内そのものからの威圧感。
- (7) 感想：
  - 大忙しの寄り道。好天に恵まれた。
  - この寺には以前訪れた。今回その重みを一層感じた。
  - 北陸の禅寺と、浄土真宗。歴史の中の意味と力を感じた。

## 75. 瑞泉寺 (ずいせんじ)

- (1) 住所： 富山県南砺市井波 3050
- (2) 浄土真宗 真宗大谷派井波別院 杉谷山 瑞泉寺
- (3) 百寺巡礼： 第二巻 第十六番
- (4) 参拝日： 2019年6月2日
- (5) 写真：



山門



山門から本堂



本堂



太子堂



太子堂を飾る木彫りの数々 (木彫りの里：井波)

- (6) ポイント：
  - 本願寺五世の綽如上人が明徳元年（1390年）に創設した真宗大谷派の寺院
  - 富山井波の大寺。北陸の一向宗のよりどころ。一揆の拠点。日本史の中で大きな存在感。

- 山門を入ると本堂と太子堂が迫ってくる。
  - 特に太子堂には井波彫刻の粋が集まる。
- (7) 感想：
- 町中の大寺。アプローチは分かりにくいが一たび入ったら、ゆったり、静か。
  - 瑞泉寺は日本中に沢山。でもここは大きい。太子信仰も強い。

## 74. 大乘寺 (だいじょうじ)

- (1) 住所： 石川県金沢市長坂町ル10番地  
 (2) 曹洞宗 東香山/相樹林 大乘寺  
 (3) 百寺巡礼： 第二巻 第十四番  
 (4) 参拝日： 2019年6月1日  
 (5) 写真：



入口・総門



総門



山門



仏堂



法堂から仏堂



法堂



禅宗に囚われない広大な墓地

- (6) ポイント：
- 金沢の禅宗。野田山墓地と隣接。多くの歴史の犠牲者も眠る。
  - 禅の修行の場と聞いていたが、ひっそり。余り手入れもされていない。でも門には座禅の予定も。
  - 静かな森の中。訪れる人はまばら。
- (7) 感想：

- 四国出張が珍しく JR。帰りに北陸新幹線に回る。
- 北陸と言えば一向宗（浄土真宗）だが、禅寺も多い。貧富の差も関係か。武家は禅宗。

### 73. 阿岸本誓寺（あぎしほんせいじ）

- (1) 住所： 石川県輪島市門前町南カ 26
- (2) 浄土真宗大谷派 新巻山 阿岸本誓寺
- (3) 百寺巡礼： 第二巻 第十一番
- (4) 参拝日： 2019年5月16日
- (5) 写真：



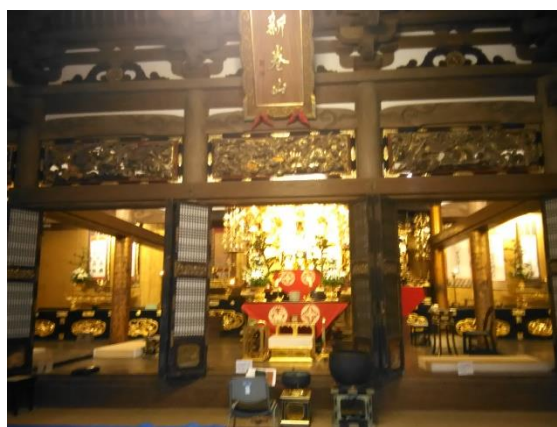
山門



本堂の茅葺屋根、葺き替え工事中



本堂正面 足場



本堂内部 本尊阿彌陀如来

- (6) ポイント：
  - 能登輪島の寺。この辺りも一向宗の歴史。
  - 茅葺屋根の本堂が特長。でも檀家も減って葺き替えできず。
  - 昨年(2018年)ネット寄付で18MM円集めて今工事中。
- (7) 感想：
  - このプロジェクトは知らなかった。昨年11月末まで。
  - 完成したらきっと美しい本堂。ぜひみたいものだ。
  - 奥能登小贅沢旅行で寄れた。確かに過疎の地方。



葺き替え工事前の本堂（ガイドブックから）

## 72. (番外) 總持寺祖院 (そうじじそいん)

- (1) 住所： 石川県輪島市門前町門前 1-18-1
- (2) 曹洞宗 別院 諸岳山 總持寺祖院
- (3) 百寺巡礼： 番外
- (4) 参拝日： 2019年5月16日
- (5) 写真：



大伽藍入口



経蔵



山門 (三門)



法堂 (大祖堂)



仏殿前は工事中

- (6) ポイント：
  - 百寺巡礼には入っていないが、曹洞宗の元大本山の一つ。永平寺と共に大本山と呼ばれた。
  - 明治44年、横浜鶴見への移転遷祖の儀式が行われ、以降能登の總持寺は「總持寺祖院」と呼ばれる。
  - 曹洞宗の中では格が高く、北前船や能登の発展に大きく貢献。
  - 日本中の多くの曹洞宗の寺院が系統を引く。
  - 2007年の能登半島地震で被害、今も修復工事が続く。
- (7) 感想：
  - 奥能登旅行に来て、阿岸本誓寺を訪問。その途中で寄る。
  - 輪島の歴史には總持寺参りの人々が多く関わる。
  - 百寺に選ばれていなくてもお参りしなくてはと思った。



仏殿 - 本尊 釈迦牟尼仏

## 71. 本法寺 (ほんぽうじ)

- (1) 住所： 京都市上京区小川通寺之内上る本法寺前町 617
- (2) 日蓮宗 本山 叡昌山 本法寺
- (3) 百寺巡礼： 第九巻 第八十七番
- (4) 参拝日： 2019年4月2日
- (5) 写真：



多宝塔



本阿弥光悦の松と長谷川等伯の像  
この寺の歴史は京文化と共に

### (6) ポイント：

- 久しぶりの春の京都。好天だったり、雨が降ったり。やや寒かったが、丁度桜が咲いた。
- 予定はしていなかったが、ふと思いついた。長谷川等伯の「大涅槃図開帳」を知って。
- 五木寛之の訪問時はレプリカだったとか。偶然、実物公開にあたる。兎に角大きい。2Fの高さ。
- 日蓮宗の京都進出の本山。当時は「法華宗」と呼んでいた。日親上人の命がけの布教の歴史。
- 日蓮宗と文化面がすぐには繋がらないが、光悦と等伯がここをベースに名を遺した。

### (7) 感想：

- 百寺巡礼がなかなか進まない。京都も多く残る。いつでも行けると思っている割には・・・
- 日蓮宗も意外に少ない。久遠寺、帝釈天、本妙寺について4寺目。後は妙成寺か。

## 70. 神宮寺 (じんぐうじ)

- (1) 住所： 福井県小浜市神宮寺 30-4
- (2) 天台宗 霊応山 (若狭) 神宮寺
- (3) 百寺巡礼： 第二巻 第二十番
- (4) 参拝日： 2018年10月27日
- (5) 写真：



本堂 (重要文化財)



閼伽井戸 (あかいど)

- (6) ポイント：
  - ー 日本には多くの「神宮寺」がある。
  - ー 神仏習合思想に基づき、神社に附属して建てられた寺。
  - ー 特徴として本堂にしめなわが張られている。
  - ー 奈良二月堂のお水取りの水はここからと言われ、閼伽井戸の湧き水が「若狭井」へと伝えられる。
  - ー ここでは3月に「お水送り」の儀式がある。
- (7) 感想：
  - ー 深く考えたことは無かったが、確かに「神宮寺」は多い。政治が何を宗教として認めたか、その時代時代に歴史が動いた。維新後の「廃仏毀釈」はついこの間のこととも言える。
  - ー 二月堂の「お水取り」の水がここに繋がるとか。ここでも、三月には「お水送り」のイベントが開かれているらしい。この山中で・・・神聖な感はある。この季節は、ひっそり。



境内には焚火の後。何か神事か。

## 69. 明通寺 (みょうつうじ)

- (1) 住所： 福井県小浜市門前 5-22
- (2) 真言宗御室派 桐山 (ゆずりさん) 明通寺
- (3) 百寺巡礼： 第二巻 第十九番
- (4) 参拝日： 2018年10月27日
- (5) 写真：



山門



本堂（右）と三重塔



どっしりと美しい国宝三重塔



茅葺の本堂（国宝）↑正面から↓塔側から



(6) ポイント：

- － 北陸小浜市の山中。本堂・三重塔共に国宝。静かな環境の中にどっしり、歴史の重み。
- － 坂上田村麻呂が創建と伝えられる。現存するのは鎌倉時代のものとか。
- － 北陸にも良い寺がある。戦禍も免れたのは、やはりひっそりと・・・
- － 何事もないように苔生しているが、それが美しい。

(7) 感想：

- － なかなか進まない百寺巡礼。でもこうして四国出張の帰りを利用して。北陸の寺も良い。
- － 小浜線沿いも過疎化の波か。小浜も、舞鶴も、いかにも、ひっそり。

## 68. 延暦寺（えんりゃくじ）

- (1) 住所： 滋賀県大津市坂本本町 4220
- (2) 天台宗 総本山 比叡山 延暦寺
- (3) 百寺巡礼： 第四巻 第三十三番
- (4) 参拝日： 2018年9月14日
- (5) 写真：



霧の中の大講堂



根本中堂は「平成の大修理（2026年まで）」





(6) ポイント：

- 昔来たことはあるが、全く記憶にない。今回は名古屋入社同期の同期会の翌日。「霧の比叡山」格別。
- 正に、仏教の大学。最澄の「天台宗」だが、ここで多くの宗派が生まれ、育った。浄土宗の法然、浄土真宗の親鸞、臨済宗の栄西、曹洞宗の道元、日蓮宗の日蓮、融通念仏宗の良忍・・・そうそうたる開祖たちの名前が残る。これはやはり最澄の遺産か。
- 牛若丸も信長の焼き討ちも・・・多くの歴史の舞台でもある。
- 今も修行に励む人たちの場でもある。現役の卒業生たちが仏教を支えている。

(7) 感想：

- 懐かしい面々との同期会の翌日、友人がドライブで連れて回ってくれる。多くは行けなかったけれど、雨のお蔭でひっそり。雨の中の緑が薫る。
- 根本中堂の修理工事はあと6年。やはり宗教のタイムテーブルはゆっくり、長い。完成時に・・・

## 67. 粉河寺 (こがわでら)

- (1) 住所： 和歌山県紀の川市粉河 2787
- (2) 粉河観音宗 (天台宗系) 風猛山 粉河寺
- (3) 百寺巡礼： 第六巻 第五十四番
- (4) 参拝日： 2018年4月29日
- (5) 写真：



大門



石組み庭園と本堂



本堂と千手堂の間に産土神社



本堂 本尊は千手千眼観音

(6) ポイント：

- 紀ノ川沿いの粉河にある、西国三十三ヶ所の第三番。大きな境内、往時を偲ばせる。
- 本尊は千手千眼観音（秘仏）。その周りを二十八部衆が囲んでいる。本堂には多くの仏像。
- 石組み庭園が圧倒。豪快な本堂の前庭。
- 薬師堂の薬師如来を特別公開中。静かな仏様。特別御朱印も。

(7) 感想：

- 何年前か分からないほど昔、一度訪ねたはずだが何も記憶にない。
- 百寺巡礼と、西国三十三ヶ所巡りを一度で。田舎だと思うけれど、多くの参拝者。
- 「和歌山線」に初めて乗った。何と「奈良行」。それだけでやや驚き。紀ノ川沿い初体験。

## 66. 道成寺（どうじょうじ）

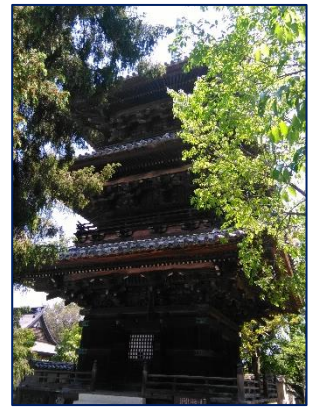
- (1) 住所： 和歌山県日高郡日高川町鐘巻 1738
- (2) 天台宗 天音山 道成寺
- (3) 百寺巡礼： 第六巻 第五十三番
- (4) 参拝日： 2018年4月28日
- (5) 写真：



仁王門



本堂



三重塔



広々とした伽藍（大寺の面影）



紀勢線道成寺駅は無人駅

(6) ポイント：

- 言わずと知れた「安珍・清姫伝説」の舞台。能、歌舞伎、浄瑠璃などで演じられ、役者や、俳優などが訪れる。縁起堂では絵巻物による絵説き説法が行われている。昔ながらの手法でも参拝客は真剣に聞き入る。
- 宝仏殿には多くの仏像がある。中でも国宝の千手観音・日光・月光菩薩は美しく、東大寺三月堂の昔の姿を思い出す。こんな所に（と言えば失礼だが）こんな素晴らしい仏像が・・・と思う。ここの仏像群を東京の美術館に並べたら、おそらく長蛇の列だろう。でも、この環境での拝観に一層の価値がある。

(7) 感想：

- 四国帰りに和歌山に。百寺巡礼も西国三十三ヶ所も。高野山は後回し。
- 連休の初日。広々とした境内に、三々五々お参りの人が。でも電車族は殆どなく、ホームでゆっくり電車を待つ。贅沢な静かな時間。

## 6 5. 青岸渡寺 (せいがんとうじ)

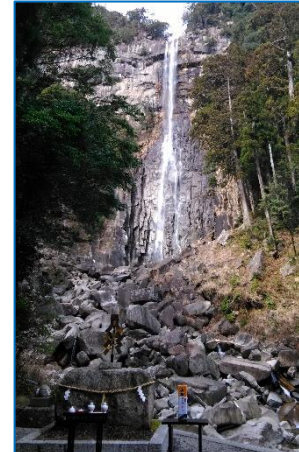
- (1) 住所： 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山 8 番地
- (2) 天台宗 那智山 青岸渡寺
- (3) 百寺巡礼： 第六巻 第五十二番
- (4) 参拝日： 2018 年 2 月 3 日
- (5) 写真：



本堂（丁度節分の豆まき）



三重塔と那智の滝



那智の大滝高低差日本一



隣的那智大社と  
神仏混淆の歴史

本殿は工事中



- (6) ポイント：
  - 観音巡り、西国三十三ヶ所第一番。名瀑那智の滝と共に歴史に存在感を示してきた。
  - 2004 年には「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産。
  - 明治までは隣的那智大社と共に神仏混淆の代表的聖地。滝も象徴的。
- (7) 感想：
  - 2018 年を迎えて改めて寺巡り再開。四国出張の帰り道で足を延ばす。
  - 勝浦が（飛行場のある）白浜からこんなに遠いとは。
  - 日本中が雪も降って寒いという日。でも、それ程寒くなかった。
  - 観光客も多い様だが、それでもひっそり。それだけ、舞台も大きい。

## 6 4. 清水寺 (きよみずでら)

- (1) 住所： 京都市東山区清水 1 丁目 294
- (2) 北法相宗大本山 音羽山 清水寺
- (3) 百寺巡礼 第三巻 第三十番
- (4) 参拝日： 2017 年 11 月 3 日

(5) 写真：



仁王門



本堂・舞台は工事中



(6) ポイント：

- 観音巡り、西国三十三ヶ所第十六番で参る。
- 何度も訪れた清水だが、ますます人人。日本人が遠ざかるかも知れないと懸念する。
- 大舞台の大工事進行中。それでも、それだから人は集まる。

(7) 感想：

- 孫娘の七五三で訪れた秋の京都。まだ紅葉シーズンには早いけれどこんなに多くの人出。
- すべてにおいて、派手な京都。奈良や、田舎の山奥のひっそりしたお寺の方が良い。

### 63. 横蔵寺 (よこくらじ)

(1) 住所： 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲神原 1160

(2) 天台宗 両界山 横蔵寺

(3) 百寺巡礼 第四巻 第三十七番

(4) 参拝日： 2017年10月28日

(5) 写真：



山門



本堂



三重塔

(6) ポイント：

- 華厳寺と同じく天台宗。でも西国巡りには入っていない。雨天もあるだろうがひっそり、静か。
- 妙心上人の即身仏 (ミイラ) が有名。今は立派なお堂に入ってガラス越しに。実に保存が良い。
- こんな山奥のお寺なのに、仏像群が素晴らしい。大日如来の静けさが印象に残った。
- ここの三重塔も素晴らしい。室生寺を思い出す。あちらが女性ならこちらが男性。

(7) 感想：

- 台風が来る前の雨天。でも緑が美しかった。
- 華厳寺からどうして移動しようかと悩んだ旅だったが、大垣でレンタカーを借りて簡単。
- うっそうとした山の中、やはり紅葉の季節がベストだろう。
- 百寺巡礼もやっと63寺。これからの27寺はますます大変そう。でも楽しみだ。

## 6 2. 華嚴寺 (げごんじ)

- (1) 住所： 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲徳積 23
- (2) 天台宗 谷汲山 華嚴寺
- (3) 百寺巡礼 第四巻 第三十八番
- (4) 参拝日： 2017年10月28日
- (5) 写真:



山門



本堂



本堂下の観音銅像



苔の水地蔵 (貼り仏)



笈摺 (おいずり) 堂  
満願巡礼の白衣の山

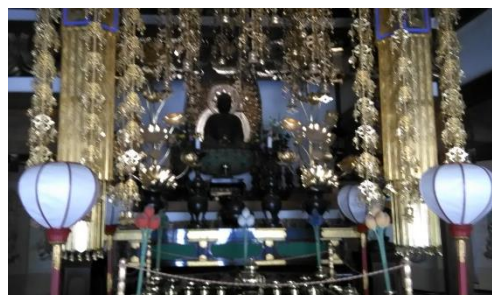
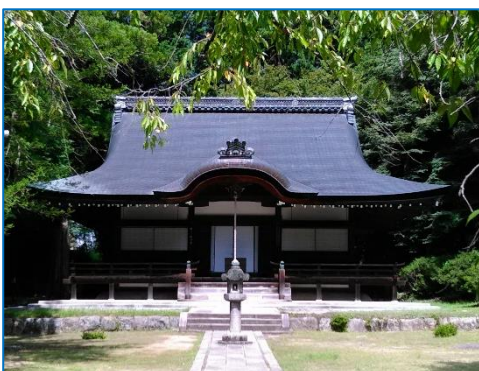


満願堂

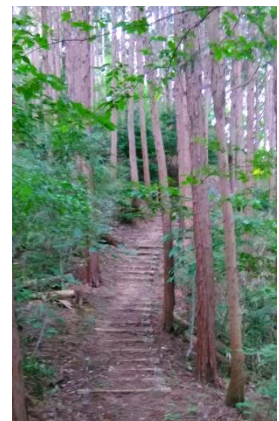
- (6) ポイント：
  - 大垣の奥地。西国三十三か所観音霊場巡りの終点 (満願)。多くの巡礼者の聖地。
  - 雨の中、先週の台風で大木が倒れて。それでも多くの参拝者。
  - 貼り仏には心臓部に貼らせてもらった。祈りながら。
- (7) 感想：
  - 満願所だけあって参拝者で賑わうのだろう。
  - 紅葉の頃は素晴らしいと思う。観光客であふれるかも知れない。
  - なかなか来れない場所だが、貫禄の太寺。

## 6 1. 弘川寺 (ひろかわでら)

- (1) 住所： 大阪府南河内郡河南町弘川 43
- (2) 真言宗醍醐派 竜池山 弘川寺
- (3) 百寺巡礼 第六巻 第五十六番
- (4) 参拝日： 2017年9月2日
- (5) 写真:



両手で薬壺を持つ薬師如来



ひっそりと美しい本堂

(6) ポイント：

- 大阪富田林市の郊外。予想以上の山の中。
- 桜が有名らしい。
- 西行が終焉の地に選んだ。
- それを探し出したのは江戸時代の似雲。
- 山中の広場に墓や塚や墳がある。
- 西行ファンには大切な場所なのだろう。



西行終焉の地

(7) 感想：

- 大阪河内平野葛城山の麓にこんな寺が。
- 桜の季節だけなのだろう。参拝客は1人のみ。
- 裏山を歩いてみた。あの頃の登山を思い出す。

西行に憧れた似雲の塚

裏山は静かな山道



## 60. 興福寺 (こうふくじ)

- (1) 住所： 長崎県長崎市寺町 4-32
- (2) 黄檗宗 東明山 興福寺
- (3) 百寺巡礼 第十卷 第九十五番
- (4) 参拝日： 2017年7月1日
- (5) 写真：



山門



美しい本堂 (大雄宝殿)



本堂の柱が爆風で曲がった



禅寺と言えば魚板 (明朝魚鼓)



眼鏡橋は近い

(6) ポイント：

- もう一つの「興福寺」。長崎三福寺の一つ。(崇福寺ともう一つは福濟寺 (原爆で焼失))
- 黄檗宗の開祖隠元隆琦ゆかりの唐寺。

ー どっしりとした本堂。

(7) 感想：

- ー キリスト教迫害史の中で生きた長崎の仏教。それを思うだけで意義深い。
- ー 風頭山周辺には多くの仏教寺院が立ち並ぶ。異国情緒の崇福寺とどこか日本的な興福寺と。
- ー 眼鏡橋に行き、翌日はロープウェイで稲佐山に。ようやく長崎が理解できた。
- ー 第十巻の四国・九州が終わった。四国にクライアントがあったお蔭でカバーできた。

## 59. 崇福寺 (そうふくじ)

(1) 住所： 長崎県長崎市鍛冶屋町

(2) 黄檗宗 聖寿山 崇福寺

(3) 百寺巡礼 第十巻 第九十六番

(4) 参拝日： 2017年7月1日

(5) 写真：



三門



第一峰門 (国宝)



大雄宝殿 (国宝)



大釜



大雄宝殿 (本堂) 内 本尊は釈迦如来



護法堂

(6) ポイント：

- ー 江戸時代、長崎に在留していた福州人（華僑）達が故郷の僧超然を迎えて南支建築様式そのまま。
- ー 風頭山の南に位置。原爆の爆風も避けた。山門は竜宮門とも呼ばれる。
- ー 禅宗の黄檗宗。厳しさを感じる。

(7) 感想：

- ー 長崎の寺院。異国情緒たっぷり。本堂も護法堂も中国のお寺そのもの。
- ー 四国出張の帰りに立ち寄った。5月にはミステリーツアーで来た長崎だったが・・・全く別の印象。

## 58. 富貴寺 (ふきじ)

- (1) 住所： 大分県豊後高田市田染路 2395
- (2) 天台宗 蓮華山 富貴寺
- (3) 百寺巡礼 第十巻 第九十九番
- (4) 参拝日： 2017年3月6日
- (5) 写真：



宇佐神宮。国東半島の神仏習合のシンボル。



参道と仁王門 (梅盛り)



国宝 大堂 (おおどう) [阿弥陀堂]



富貴寺境内の中にも白山神社



往時の名残

- (6) ポイント：
  - 国東半島、六郷満山の一部。宇佐神宮を中心とする神仏習合群。祈りの半島。
  - 大堂には阿弥陀如来、浄土宗的匂いもある。
  - 大堂内の壁画は素晴らしいのに復元されていない。建物のみ国宝だからか。
  - もっと大寺かと思っていたが、大堂中心。
- (7) 感想：
  - 初めての国東半島。自然を感じる祈りの場。おそらく仏教をすんなり受け入れた神の半島。
  - 親しかった友人が逝った。帰り道に芦屋に寄って告別式に出ることにした。彼の成仏も祈った。

## 57. 羅漢寺 (らかんじ)

- (1) 住所： 大分県中津市本耶馬溪町
- (2) 曹洞宗 耆闍崛山 羅漢寺
- (3) 百寺巡礼 第十巻 第百番
- (4) 参拝日： 2017年3月6日
- (5) 写真：



往路途中に「青の洞門」



山門



本堂上に鐘楼



岩壁に千体地藏



リフトで登ったけれど



仁王門まで歩き直す

(6) ポイント：

- 五木寛之が百番目に選んだ大分の寺。断崖に建てられている。
- 写真撮影が限られていて迫力の五百羅漢は自分の記憶の中のみ。
- 臨濟宗から曹洞宗に。いずれにしても禅宗の寺。拝観料もなく、厳しさを感じる。
- この一帯は「耶馬溪」、途中の「青の洞門」にも停車。ウイークデーで観光客も少ない。

(7) 感想：

- 今年も因島での安政柑収穫の後、九州に足を延ばした。断崖の奇寺。
- 流れでリフトに乗ってしまったけれど、全て歩いた方が良い。帰りかけて、仁王門を見たくて登りなおした。
- 幼稚園児たちが遠足で歩いていた。本堂前では声を合わせてお祈り。心が洗われる。

## 56. 一畑薬師 (いちばたやくし)

(1) 住所： 島根県出雲市小境町 803

(2) 臨濟宗 妙心寺派 天台宗 醫王山 一畑寺 (一畑薬師教団総本山)

(3) 百寺巡礼 第八卷 第七十四番

(4) 参拝日： 2016年10月2日

(5) 写真：



正面石段から本堂へ



仁王門には「医王山」の額



薬師本堂



本堂内では多くの礼拝が

(6) ポイント：

- － 「眼のお薬師様」は全国区。多くの眼病患者も訪れる。
- － 意外な程の山の中。大きな境内。一畑電鉄で来たらかなりの山登りか。
- － 本尊は薬師瑠璃光如来。海で漁師にすくい上げられたとか。伝説も面白い。

(7) 感想：

- － 一畑電鉄もあるし、容易にお参りできるのでは、と思ったが意外な程の山中。
- － 一晩で好天。一気に変わって汗との闘い。心地よい汗。
- － 山陰では三徳山が残ってしまった。次回の帰省の時にでも。
- － 今頃になって、このシリーズも御朱印を貰っておけば、と思うけれど。

## 5 5. 清水寺 (きよみずでら)

- (1) 住所： 島根県安来市清水町 528
- (2) 天台宗 瑞光山 清水寺
- (3) 百寺巡礼 第八巻 第七十三番
- (4) 参拝日： 2016年10月1日
- (5) 写真：



うっそうとした中の参道  
水のせせらぎも聞こえて  
ここも幟が一杯



根本堂へと



重厚な三重塔



展望台では宍道湖と島根半島の景色が

雨模様だということに奥の展望台まで

(6) ポイント:

- 山陰の「キヨミズさん」。日本には多くのキヨミズ（セイスイ）寺がある。京都が有名すぎるが・・・
- ここの三重塔は重厚で美しい。山陰唯一とか。なぜ、こんな塔がこんな場所にと思わせる。
- 本尊は秘仏の十一面観音。本堂正面にはなぜか鏡。これも神仏混淆の流れ？
- 展望台とあったので、根本堂から歩く。薄暗い山道。到達した山上からは宍道湖と島根半島。

(7) 感想:

- 安来節の里。しっかり山の中。小雨模様だったがのんびり、静かに歩いた。
- 展望台は余計だったか。歩く人も少なく。でも、静か。
- 幟（のぼり）が多い。天台宗だが、現世のご利益を望まれているということか。

## 5 4. 大山寺（だいせんじ）

- (1) 住所： 鳥取県西伯郡大山町大山 9
- (2) 天台宗別格本山 角磬山 大山寺
- (3) 百寺巡礼 第八巻 第七十二番
- (4) 参拝日： 2016年10月1日
- (5) 写真:



本堂は石段の上



本堂内部



山門から本堂への石段



奥宮への自然石参道



大神山神社（奥宮） 本殿  
神仏共存の歴史



本殿内部の天井絵  
入ってはいけないのに・・・  
神官に叱られる。でも素晴らしい。

(6) ポイント：

- ー 伯耆富士・大山の登山口。山岳信仰の神仏混淆。大山寺も大神山神社も古くて風格。
- ー 阿弥陀堂を見逃す。仏像類も良さそうだったが。
- ー 小雨の中、神社にも参る。こちらの重厚感は凄い。先に祝詞を挙げて貰っている人がいたものだからうっかり勝手に上がって、天井絵の写真を。神官に叱られる。

(7) 感想：

- ー 出張帰りに米子に回った。レンタカーで鳥取島根の3寺を巡る。
- ー 初日は雨。大山は見えぬ。でも自然石の石段は素晴らしい。
- ー 中学時代(?)に大山登山の途中で立ち寄ったのを何故かよく覚えている。もう50年以上前だ。
- ー 特に山陰は神仏混淆の歴史が多い。他の地方と比べて神道が強いとも言える。

### 53. 飛鳥寺 (あすかでら)

- (1) 住所： 奈良県高市郡明日香村飛鳥 682
- (2) 真言宗 豊山派 鳥形山 飛鳥寺 (安居院)
- (3) 百寺巡礼 第一巻 第八番
- (4) 参拝日： 2016年6月4日
- (5) 写真：



飛鳥大仏



安居院



未だ明日香の風景が残る



蘇我入鹿首塚

(6) ポイント：

- ー 日本最古の仏像。飛鳥大仏。
- ー 止利仏師の作と伝えられる。法隆寺の釈迦三尊像と似ている。

(7) 感想：

- 何年前に訪れたか、覚えていない。前は田んぼの中にひっそりと建った目立たない寺だった。
- 今や、多くの人々が訪れる。やはり、飛鳥大仏の古さか。仏像史を学ぶなら原点。
- 飛鳥の村は、今でも景観を保っている。頑張っ欲しいとは思ふ。
- 百寺巡礼の第一巻「奈良」は終わった。でも奈良はもっとあって良い。
- この機会に今度は「西国三十三ヶ所巡礼」をすることにし、その初日。岡寺に立ち寄った。

## 52. 永明寺 (ようめいじ)

- (1) 住所： 島根県鹿足郡津和野町後田口 107
- (2) 曹洞宗 覚皇山 永明寺
- (3) 百寺巡礼 第八巻 第七十五番
- (4) 参拝日： 2015年12月17日
- (5) 写真：



三門 流



茅葺きの本堂 少し荒れている



坂崎出羽守の墓所  
劇



森鷗外 (林太郎) は津和野の出身

- (6) ポイント：
  - こちらは津和野藩の菩提寺。やはり禅宗 (曹洞宗)、静けさが似合う。
  - 茅葺の本堂が良い。いかにも山の中の村の、でも大きな寺。
  - 関が原では勝ち組にでも江戸時代に入って狙われる。時代に翻弄された藩。

— 森鷗外は津和野の出身、誇りにされている。本堂正面にひっそり。

(7) 感想：

- おそらく緑の春や紅葉の秋だろうか、混雑の時が想像できない静けさ。
- 内部や庭を拝観しようと何度もチャイムを押したが返事はなし。禅の庭は見たかったが。
- 新山口への帰りのドライブでは遂に雪。久しぶりの雪道運転に緊張。でも問題なかった。

## 5 1. 東光寺 (とうこうじ)

(1) 住所： 山口県萩市椿東 1647

(2) 黄檗宗 護国山 東光寺

(3) 百寺巡礼 第八巻 第七十六番

(4) 参拝日： 2015年12月17日

(5) 写真：



三門



大きな本堂 本尊は釈迦牟尼仏

(6) ポイント：

- 長州毛利家菩提寺。どっしりとしたお寺。
- 毛利家廟所には圧倒される。墓標の前に鳥居があるのは、廃仏毀釈の影響か。圧倒される墓群。
- 毛利3, 5, 7, 9, 11代藩主の夫婦の墓が並ぶ。
- 偶数代の墓は大照院に。
- 維新の時代の藩(武士)側の犠牲者・貢献者の墓も。
- 黄檗宗は中国の本家禅宗。きりりと引き締まる。

(7) 感想：

— 宇部と高松のコンサル出張の合間。新山口でレンタカーを借りて5時間のドライブ。

- 正にシーズンオフ、寺はひっそり。でもそれが廟所の重厚さと良くマッチして快かった。
- 武士の世界と黄檗宗は良くマッチする。日々の生活が命をかける兵士には良く似合う。
- 松蔭神社も近い。維新、長州、萩、日本の歴史の重要な一瞬、その地域。



毛利氏廟所

## 5 0. 長谷寺 (はせでら)

(1) 住所： 奈良県桜井市初瀬 731-1

(2) 真言宗豊山派 総本山 豊山(ぶざん) 神楽院 長谷寺

(3) 百寺巡礼 第一巻 第二番

(4) 参拝日： 2015年10月31日

(5) 写真：



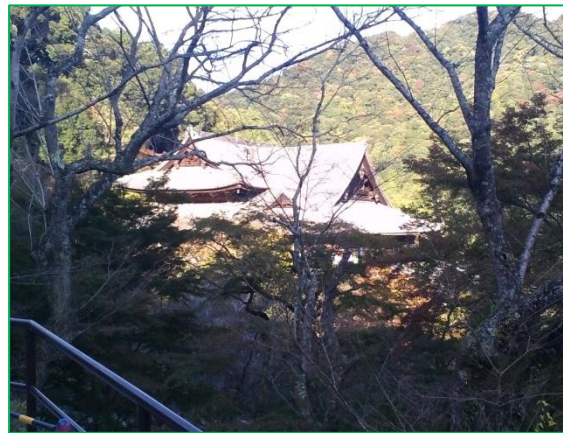
長谷寺正面



仁王門



登廊



本堂（国宝）  
（本尊 十一面観音菩薩）



本長谷寺



開山堂

(6) ポイント：

- － 幸運にも本尊「十一面観音」の特別拝観中。10m以上の大きな観音。足元にひざまずき祈る。
- － 初瀬山の中腹、大伽藍。多くの参拝客。
- － 牡丹が有名、「花の寺」

(7) 感想：

- － 学生時代以来二度ほど来たことはあるがまるで覚えていない。駅からも遠い。思い出すと懐かしい。
- － 大きな本尊を身近に。全てを見透かされている様で怖い。
- － 百寺巡礼に戻った。ようやく半分。こんな楽しみ、いつまで続けられるか。

## 49. 室生寺（むろうじ）

(1) 住所： 奈良県宇陀市室生 78

(2) 真言宗室生寺派大本山 一山（べんいちさん）室生寺

(3) 百寺巡礼 第一巻 第一番

(4) 参拝日： 2015年10月31日

(5) 写真：



朱塗りの太鼓橋



弥勒堂には美しい釈迦如来坐像

鎧坂の上に金堂



本堂（灌頂堂）には如意輪観音や両界曼荼羅

金堂には釈迦如来や十一面観音（国宝）

これぞ室生寺  
可愛く美しい  
五重塔



数百段登る  
その先に  
奥ノ院  
汗に風

(6) ポイント：

- － 「女人高野」で名高い。山奥の静かな谷にひっそりと。美しい。
- － 仏像も、建物も国宝と重要文化財が山のように。弥勒堂の釈迦如来、金堂の十一面観音が惹きつける。
- － 本堂から右に曲がった途端目に飛び込む「五重塔」、何度見ても美しい。心にメロディーが聞こえる。
- － 300~400 段登ると奥ノ院。ここは良い。将来分骨を収めてもらおう。

(7) 感想：

- － 最初に訪れたのは 20 歳前後。その後、何度来たか。来るたびに、色んな美に巡り合う。思い出多い寺。
- － 雪の、花の、緑の、紅の・・・どんな枕詞をつけても一シーンを思い浮かべる。
- － 多くの文学者や、写真家がほれ込んだ。単純に判る。

## 48. 人吉別院（ひとよしべついでん）

- (1) 住所： 熊本県人吉市七日町 25
- (2) 浄土真宗本願寺派 人吉別院
- (3) 百寺巡礼 第十卷 第九十八番
- (4) 参拝日： 2015 年 10 月 7 日
- (5) 写真：



山門



本堂

(6) ポイント：

- － 思っていたより小さな街中の寺。売りは「隠れ念仏の里」。
- － 人吉相良藩は、薩摩・肥後に挟まれ一向宗を禁じた。その中で多くの隠れ一向宗が。

(7) 感想：

- － この寺というより、相良藩の歴史が面白い。小藩でありながら巧く立ち回って、豊かな藩を築いた。
- － 関が原では光成に背いて家康につき、明治維新では新政府側に回った。
- － 年貢も過少申告でごまかし、だから球磨焼酎は米を原料にできた。
- － 翌日は鹿児島に回り、知覧まで足を延ばして特攻隊の足跡を追った。考えることの多い旅。

#### 47. 本妙寺 (ほんみょうじ)

(1) 住所： 熊本県熊本市西区花園 4-13-1

(2) 日蓮宗 六条門流 発星山 本妙寺

(3) 百寺巡礼 第十巻 第九十七番

(4) 参拝日： 2015年10月7日

(5) 写真：



(後ろは仁王門)



参道から

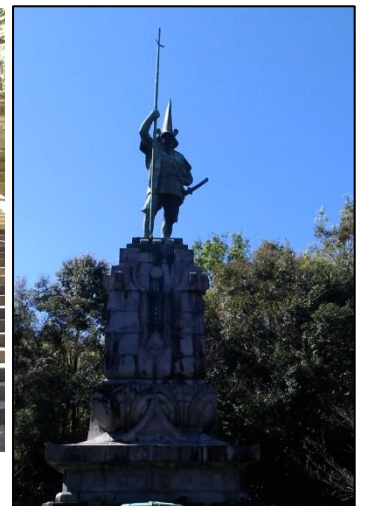
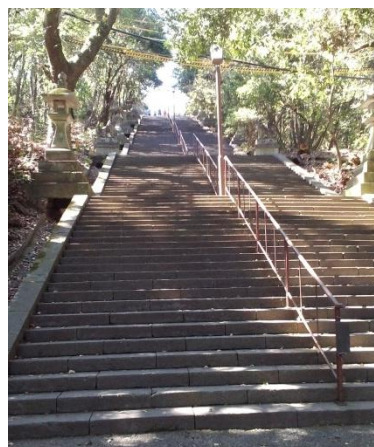
(前は本堂へ)



中門



本堂 浄池廟





銅像から熊本市と阿蘇外輪山を望む  
夕方には熊本散歩。城壁の迫力

300段の石段を上ると  
加藤清正の銅像



(6) ポイント：

- ー 加藤清正を祀る日蓮宗の寺。
- ー 正に清正の墓地。廟という。

(7) 感想：

- ー 熊本に於ける加藤清正人気は別格の様。「きよまさ」ではなく、「せいしょうこう」と言われる。
- ー 熊本に初めて泊まった。一時は九州の中心地。今は、福岡へと流れている。
- ー 300段の石段はやはりちょっと休憩が必要。高校生がトレーニングと称して走っていた。若い。

## 46. 梅林寺 (ばいりんじ)

- (1) 住所： 福岡県久留米市京町 209
- (2) 臨済宗妙心寺派 江南山 梅林寺
- (3) 百寺巡礼 第十巻 第九十二番
- (4) 参拝日： 2015年10月7日
- (5) 写真：



山門



唐門と本堂 (工事中で入れず)



筑後川ゆっくり



この奥が梅林園

(6) ポイント:

- 禅宗（臨濟宗）の古刹。現在、修復工事中、でもひっそりと。
- 現役の修行寺。
- 有馬家の菩提寺。作家有馬頼義氏も眠る。

(7) 感想:

- 球磨焼酎を楽しむ会で、人吉を訪問するついで。まず、博多に降りてすぐ久留米に向かう。新幹線ならすぐ。
- 工事中もあってか(?)、中には入れず。修行中の雲水の姿を見たかったけれど。
- ちょっと時間があって、筑後川まで。さすが大河、ゆったりと堂々と。
- 観光と言う意味では梅の季節だけかもしれない。でも流石に禅宗。どことなく厳か。

#### 4 5. 観世音寺 (かんぜおんじ)

(1) 住所: 福岡県太宰府市観世音寺五丁目6番1号

(2) 天台宗 清水山 観世音寺

(3) 百寺巡礼 第十巻 第九十一番

(4) 参拝日: 2015年7月30日

(5) 写真:



観世音寺 講堂



観世音寺 梵鐘 (国宝)



観世音寺 金堂



観世音寺 塔心礎



今は別法人 臨濟宗 戒壇院



ついでに大宰府にも

(6) ポイント:

- 一年ぶりの「百寺巡礼」、九州に上陸。
- 混雑の大宰府の近くなのに、ひっそり。盛夏、汗。
- 鑑真が建てたという「天下三戒壇」の一つ戒壇院も隣。今は別法人。どっしりした美しい建築。
- 五重塔の礎石も残る。往事は大伽藍だった様だ。
- 梵鐘は国宝。日本最古の梵鐘の一つ。石を投げられぬよう金網に守られて・・・残念。

(7) 感想:

- 四国八十八ヶ所巡りに集中していて、久しぶりの百寺。
- 九州大学に出張の翌日。全国的に猛暑。暑い日。
- 時間を有効にと、レンタサイクルを借りて。田んぼの畦道は心地よかった。
- 折角、大宰府に来たのだからと、天満宮へもお参り。ウィークデーというのに人、人、人。
- 今更、祈っても天神様の加護は必要ないかも知れないけれど、せめて認知症にならぬよう。

#### 44. 善光寺（ぜんこうじ）

- (1) 住所： 長野県長野市元善町 491
- (2) 単立寺院（無宗派）定額山 善光寺
- (3) 百寺巡礼 第五卷 第五十番
- (4) 参拝日： 2014年8月12日
- (5) 写真：



六地藏



仁王門



山門



本堂（国宝）

#### (6) ポイント：

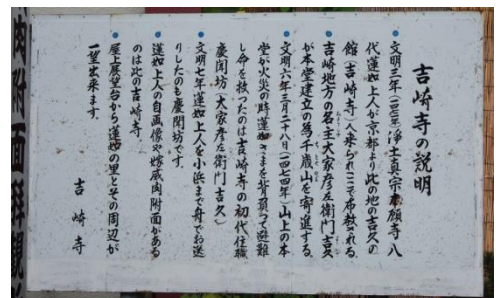
- 無宗派だが、天台宗・大勸進（と25院）、浄土宗・大本願（と14坊）により、運営。住職は大勸進貫主と大本願上人（尼）の両名が務める。
- 本堂は撞木造りの国宝。
- 仏教が諸宗派に分かれる以前からの寺院であることから、宗派の別なく宿願が可能な霊場
- 本堂では床下の真っ暗な通路を通り、本尊の阿弥陀如来が安置されている「瑠璃壇」という小部屋の真下にあるとされる「極楽浄土への錠前」に触れる「戒壇巡り」が体験できる。

#### (7) 感想：

- お盆ドライブのラストに鹿教湯温泉でゆっくりした。そのあと、善光寺参り。
- シーズンもあるだろうが、台風の影響もある中、多くの参拝客に驚く。
- 戒壇巡り、長い列で恐怖は無いが、久しぶりに味わった「本当の暗闇」。
- これで、第五巻、関東・信州は終わった。あと、56寺。先は長い。

#### 43. 吉崎御坊（よしざきごぼう）

- (1) 住所： 福井県あわら市吉崎
- (2) 浄土真宗本願寺派 吉崎寺／西御坊、真宗大谷派 東御坊
- (3) 百寺巡礼 第二卷 第十八番
- (4) 参拝日： 2014年8月10日
- (5) 写真：



吉崎寺門前の解説



背負われる蓮如像



西御坊



東御坊

(6) ポイント：

- － 「御坊」は宗教都市の史跡だった。一寺院ではない。
- － 浄土真宗の祖「蓮如」が作り出した繁栄の街のあと。ここで蓮如は膨大な信者を広げていった。
- － 御坊後は小山、そこに蓮如の像が立つ。台風の影響で、行くことはできず。

(7) 感想：

- － どうも根本的に誤っていた。「吉崎寺」を吉崎御坊と勘違い。寺らしくない建物で、一階は資料館。伝説の「嫁おどし肉付き面」などを展示。
- － 受付をしていた女性は、(多分)住職の奥様。誰もお参りしないので施錠してあった二階の本堂を開けて、蓮如や吉崎の歴史など、いろいろ話して下さった。これはこれで良いひと時。
- － 寺院としては、西御坊、東御坊の方が立派な寺院。でも、嵐で車も降りず、門のみカメラに収めた。

## 4 2. 永平寺 (えいへいじ)

- (1) 住所： 福井県吉田郡永平寺町志比 5-15
- (2) 曹洞宗 大本山 吉祥山 永平寺
- (3) 百寺巡礼 第二巻 第十七番
- (4) 参拝日： 2014年8月10日
- (5) 写真：



学びの場・僧堂



仏殿からみた山門



法堂の聖観世音菩薩



山門からみた仏殿と法堂

(6) ポイント：

- － 禅宗、曹洞宗の大本山。開山は道元。
- － 今でも多くの僧侶（雲水）が修行をする場である。

(7) 感想：

- － 帰省ドライブの帰り道に立ち寄る。昔来たことはあったが、何も覚えていない。
- － 台風11号に直撃された、が、この修行の場は何ら影響されることなく一日が動いている。
- － 正に現実の道場。多くの雲水が静かに動いている。
- － 禅宗は格上の仏教と言う感じを与える。歴史上、指導者層が支えてきた。

## 4 1. 秋篠寺 (あきしのでら)

- (1) 住所： 奈良県奈良市秋篠町 757
- (2) 単立寺院 秋篠寺
- (3) 百寺巡礼 第一巻 第五番
- (4) 参拝日： 2014年7月26日
- (5) 写真：



南大門



本堂（国宝）



参道脇の苔が美しい

(6) ポイント：

- － 単立で宗派に属さない。本尊は薬師三尊、浄土宗に近い。
- － 昔は大きなお寺だった様だが今はひっそり。国宝の本堂と重文の伎芸天立像が有名。

(7) 感想：

- － 20歳前、仏像・古寺に目覚めたきっかけになった寺。伎芸天に憧れた。あの頃もひっそりした寺だった。
- － 当時、読んだのは和辻哲郎の「古寺巡礼」と、亀井勝一郎の「大和古寺風物誌」。今でも忘れない。
- － 堂内の照明法が変わったか、当方が歳をとったか。伎芸天の美しさが現代的になった。
- － この寺には何度来たか・・・色んなことを思い出しながら。

## 40. 當麻寺（たいまでら）

- (1) 住所： 奈良県葛城市當麻 1263
- (2) 高野山真言宗・浄土宗 二上山 當麻寺
- (3) 百寺巡礼 第一巻 第九番
- (4) 参拝日： 2014年7月26日
- (5) 写真：



境内から二上山



仁王門



本堂（本尊：曼荼羅帳）



東西両塔が揃う



金堂（弥勒菩薩）



講堂（阿弥陀如来）

(6) ポイント：

- － 真言宗・浄土宗の並立。
- － 建物・仏像など国宝が多い。最も有名なのは本尊・當麻曼荼羅。これが祀られる厨子や須弥壇も。
- － 金堂、講堂の仏像たちも重厚な仏たち。
- － 東西両三重塔が揃っているのも美しい。

(7) 感想：

- － 大学生の頃、この辺りを通った。お参りしたかどうか・・・憶えていたがやはり良い。
- － 四国からの帰りに寄る。37℃の猛暑。参拝客も少ない。受付の若者がわざわざ金堂や講堂の鍵を開けてくれた。
- － 中の坊にも立ち寄る。紅葉の時期の喧騒が想像できる。美しい庭。
- － 久しぶりの奈良、仏像の前にたたずむ。やはり、奈良は一人か。

### 39. 永保寺 (えいほうじ)

(1) 住所：岐阜県多治見市虎溪山町1-40

(2) 臨済宗 南禅寺派 虎溪山 永保寺

(3) 百寺巡礼 第四巻 第四十番

(4) 参拝日： 2014年3月19日

(5) 写真：



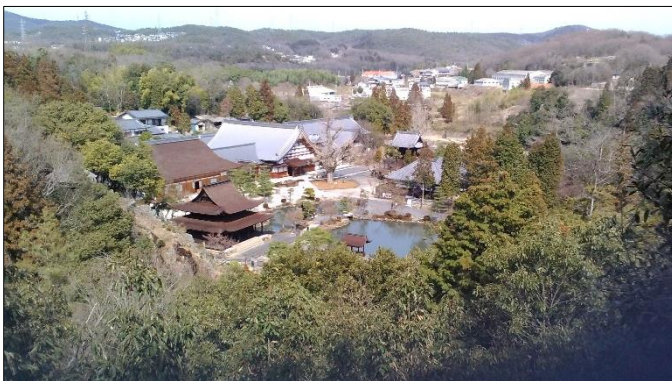
観音堂 (国宝)



臥竜池と無際橋



開山堂 (国宝)



座禅石からの境内



こんな山道を這って

(6) ポイント：

- － 夢窓疎石の開創と言われる。庭が美しい。
- － 観音堂、開山堂という二つの国宝の建物がひっそりと建っている。
- － 開山堂の屋根の突き出し方が力強い。武士の世界、そして禅宗。
- － 秋の紅葉の頃は人も多いようだが、数人の参拝客で静か。

(7) 感想：

- － 初めての岐阜の寺。何故か禅宗で、身が引き締まる。美しい庭と、池、橋、岩・・・バランスが美しい。
- － 初老のガイドさんがやってきて色々解説してくれた。座禅石の話をしたら、「その格好ではだめです。止めなさい。」と止められた。が、五木寛之も登ったとあるので、こっそり、頑張る。なるほど良い景色だった。でも、ビジネスシューズで、上りも降りもひたすら、「ここで滑って怪我でもしたら・・・」と、細心の注意。でも翌日は両足が痛くて・・・無事で良かった。

### 38. 専修寺 (せんしゅうじ)

- (1) 住所：三重県津市一身田町2819
- (2) 浄土真宗高田派 本山 高田山 専修寺
- (3) 百寺巡礼 第四巻 第三十九番
- (4) 参拝日： 2014年3月19日
- (5) 写真：



山門



如来堂



御影堂



唐門

- (6) ポイント：
  - － 浄土真宗10派の一つ、真宗高田派の本山。親鸞が関東各地で布教した際、栃木県真岡市高田に建立した専修寺が大元（今でも本寺は栃木）。
  - － 蓮如の本願寺派に対した、高田派の根拠。本願寺派が信長の攻撃を受けた際は、救われる。
  - － 東西本願寺より多くの親鸞の直筆を収蔵している。
- (7) 感想：
  - － コンサルの出張（松阪）の帰り道に立ち寄る。JR 紀勢線の一両車両にのって、のんびり。
  - － 街が良い。寺内町が保護されていて、美しい。「一身田（いっしでん）」という駅も街もいかにも寺町。
  - － 親鸞が強かっただけに、浄土真宗は理解するのも難しい。一向宗として信長と戦ったほどの力。でも、この高田派は違う道をたどった。
  - － 確かに、「ミニ本願寺」。今でも観光地ではなく、信仰の場。（当然、拝観料などはない）

### 37. 瑠璃光寺 (るりこうじ)

- (1) 住所：山口県山口市香山町7-1
- (2) 曹洞宗 保寧山 瑠璃光寺
- (3) 百寺巡礼 第八巻 七十七番
- (4) 参拝日： 2014年3月3日
- (5) 写真：



本堂（薬師如来）



日本三名塔の一つ 五重塔



禅堂 数珠（8煩惱）

(6) ポイント：

- 西の京、山口にある巨刹。大内文化の華。
- 奈良法隆寺、京都醍醐寺と並ぶ日本三名塔（五重塔）の一つ。特に縦のラインが美しい。
- 元は曹洞宗安養寺、その後臨済宗香積寺となって最終的に今の曹洞宗瑠璃光寺。
- 山口という町そのものが大人しく、知的。山陽本線も、新幹線もこなかった。それ故か。
- 陶家に滅ぼされるまでの大内家は華麗。京都を模した街作り。
- 瑠璃光寺の歴史は複雑、五重塔だけはずっと守られた。

(7) 感想：

- 確かに美しい五重塔だ。周りの景色との調和も良い。臨済宗香積寺から変わっても生き続けた。
- 夕暮れで観光客も少なく、心地よい散歩。
- 大内から毛利へ、歴史も面白い、でも今は静かな県庁所在地。

### 36. 阿弥陀寺（あみだじ）

(1) 住所：山口県防府市大字牟礼上坂本1869

(2) 華嚴宗 東大寺別院 華宮山 阿弥陀寺

(3) 百寺巡礼 第八巻 第七十八番

(4) 参拝日： 2014年3月3日

(5) 写真：



仁王門は修復工事中



本堂（阿弥陀如来）



山門への石段



開山堂



石風呂



念仏堂への石段

(6) ポイント：

- 名僧重源上人が東大寺再建のために建立。（平重衡の兵火、後白河法皇の悲願）
- 巨木を切り出し佐波川から瀬戸内海を経て奈良へと運んだ。
- 重源は工夫に優しく「石風呂」を作り、「浴場念仏」を教えた。
- 現代は「あじさい寺」で有名。

(7) 感想：

- 今年も因島で「安政柑を守る会」の収穫祭。その帰り道に廻った。
- 防府市ではあるがバスの終点。あじさいの季節でなければ静寂。心地よい静けさ。
- 室町から鎌倉の変遷の中の東大寺再建の物語。

### 35. 靈山寺 (りょうぜんじ)

- (1) 住所： 徳島県鳴門市大麻町板東塚鼻126
- (2) 真言宗 竺和山 一乗院 靈山寺
- (3) 百寺巡礼 第十卷 第九十四番
- (4) 参拝日： 2013年11月30日
- (5) 写真：



紅葉の中の多宝塔



四国霊場八十八ヶ所第一番



本堂 釈迦如来



太子堂

#### (6) ポイント：

- 何と言っても四国霊場八十八か所の第一番。巡礼の仕方、ポイントもちゃんと教えてくれる。良いのはそこにわざとらしさが全くない。心から受け入れてくれる優しさがある。
- 特に空海がここで何をしたと言う訳でもない。ただ今では空海フォローのスタート地点。観光バスも多いとか。でも、喧騒はない。静かな朝。

#### (7) 感想：

- またまた、高松でのコンサルの帰り途。高松からそんなに遠くない。初めて徳島に泊って、ゆっくりした。
- 阿波踊りのお盆以外は実に静かな町。でも、ちゃんと特徴的な企業の城下町でもあって、面白い。
- ここを訪ねると言ったら、一人の若者が、納経帳を贈ってくれた。これは大変。新たな「古寺巡礼」の目標が出来てしまった。新たな楽しみとして考えたい。この日に、第二番「極楽寺」まで、歩いた。素敵なウォーキング。

### 34. 東福寺 (とうふくじ)

- (1) 住所： 京都市東山区本町十五丁目778
- (2) 臨済宗東福寺派 大本山 慧日山 東福寺
- (3) 百寺巡礼 第九卷 第八十九番
- (4) 参拝日； 2013年11月5日
- (5) 写真：



開山堂



三門



本堂 (仏殿)



方丈



南庭



北庭（市松模様）

(6) ポイント：

- 東大寺・興福寺から1字ずつとって、九条家が発案、30年以上かかって完成。1255年完成。
- 大伽藍に25の塔頭・寺院がある。
- 今は紅葉の名所。

(7) 感想：

- 美しい所を探すといくらでも、という感じ。京都文化の中心的イメージがある。
- 本尊釈迦如来は見えず。やはり京都は、建物、庭を含めた文化が目立つ。
- 昔、永六輔が「京都で一時間」という詩を書いた。何故かそれを思い出す。京都駅から近いが故にここまで来て、一服すれば、という内容だった。これから紅葉のピーク。休日はラッシュアワー並みの人ごみとか。確かに美しいものは見たいけれど・・・

### 3.3. 東本願寺（ひがしほんがんじ）

- (1) 住所： 京都市下京区烏丸通七条上ル常葉町754
- (2) 浄土真宗 真宗大谷派 本山
- (3) 百寺巡礼 第三巻 第二十六番
- (4) 参拝日： 2013年11月5日
- (5) 写真：



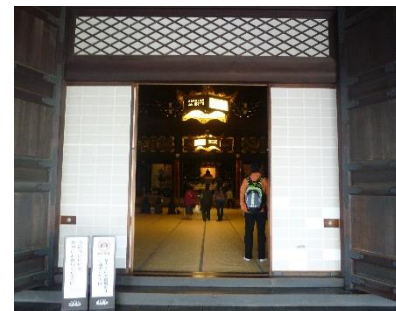
御影堂門と  
阿弥陀堂は  
修復工事中



阿弥陀堂門



修復なった御影堂



宗祖親鸞の座像

(6) ポイント：

- 大谷派の聖域。教法宣布の根本道場。
- 平成21年まで御影堂の修復工事、現在は阿弥陀堂。完了予定は平成27年。
- 正に「現役の浄土真宗の本山」。

(7) 感想：

- 仏事と慶事を終えての帰り途、立ち寄った。大きな都会の雑踏の中の筈なのに、静か。
- 浄土真宗は「現役の仏教の寺」。いつでも誰でも入って手を合わせられる。それが何より良い。
- やはり、宗教は美術第一ではない。こうして多くの信者達が盛り上げている。
- 「バラバラでいっしょ」というスローガンが一時期掲げられたとか。良い言葉だ。

### 32. 南禅寺 (なんぜんじ)

- (1) 住所： 京都市左京区南禅寺福地町86
- (2) 臨済宗 南禅寺派 総本山 瑞龍山南禅寺
- (3) 百寺巡礼 第三卷 第二十九番
- (4) 参拝日：2013年11月2日
- (5) 写真：



境内の水路閣



三門



法堂



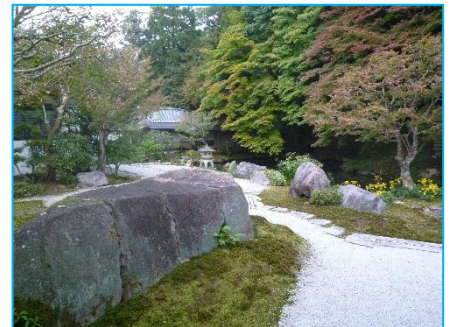
方丈



虎の子渡しの庭



六道庭



南禅院方丈庭園

- (6) ポイント：
  - 禅林寺（永観堂）の南にできた持仏寺が前身。
  - 江戸時代、崇伝入寺から栄える。
  - 明治維新後、琵琶湖疏水の水路閣で話題に。今では一つの風景に。
- (7) 感想：
  - 銀閣寺から疏水沿い散歩の終点。何度も歩いた道。何度も来た寺。その度に、違ったテーマがあった。
  - 今年の台風で被害があった。その名残りも。そんな中を生き抜く。
  - 寺を出たらもう暗くなった。久しぶりの「無心の」京都散歩。

### 31. 永観堂 (えいかんどう)

- (1) 住所： 京都市左京区永観堂町48
- (2) 浄土宗 聖衆来迎山 西山禅林寺派 総本山
- (3) 百寺巡礼 第九卷 第八十六番
- (4) 参拝日： 2013年11月2日
- (5) 写真：



紅葉の名所  
間もなく盛り



(6) ポイント:

- 「みかえり阿弥陀」と紅葉で有名。
- 正式名称は「禅林寺」。元々は真言密教の寺。今は（禅宗ではなく）浄土宗。

(7) 感想:

- 紅葉の中の「みかえり阿弥陀」に列ができる。
- みかえり阿弥陀は人気の仏像。「永観、遅し」と振り返った様とか。不思議な魅力がある。
- 人生は「振り返ってばかりではいけない」ものなのだろう、けれど。

### 30. 法然院 (ほうねんいん)

- (1) 住所: 京都市左京区鹿ヶ谷御所ノ段町30
- (2) 浄土宗 善気山 法然院 萬無教寺
- (3) 百寺巡礼 第九卷 第九十番
- (4) 参拝日: 2013年11月2日
- (5) 写真:



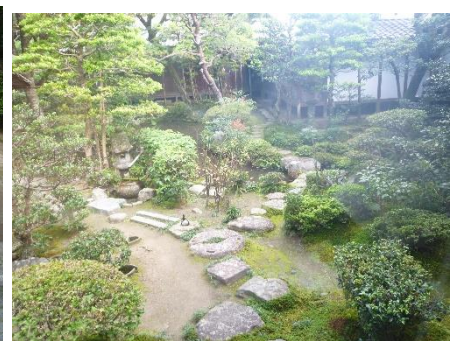
地蔵菩薩像



山門



白砂壇



方丈庭園

(6) ポイント:

- 京都の紅葉のポイント。通常は静かな寺。「京都キャンペーン」で多くの人を訪れる。
- 売りは、法然の弟子、安楽・住蓮が後鳥羽上皇の女房、松虫・鈴虫を出家させ、死罪となり、法然も讃岐へ流罪という物語。近くには、住蓮山安楽寺という寺院があり、松虫・鈴虫・安楽・住蓮の供養塔がある。
- 庭が美しい。丁度秋の本堂公開に当たった。
- 現住職梶田師の法話も聞いた。五木のいうアイデアマン。宗派にこだわるのは二の次、三の次。

(7) 感想:

- 若い頃、何度か紅葉を観に来たが、お寺詣りという感覚は無かった。でも、静かで好印象だった。
- 今回は、公開に当たり、かつ梶田住職の法話まで聞いた。人間にとっての宗教を考えた。やはり、宗教は芸術ではない。そんな当たり前のことを思った。なんだか、浄土宗が羨ましくなったりして・・・
- 山門に向かう道は、どこまでも美しい。心落ち着く。

### 29. 銀閣寺 (ぎんかくじ)

- (1) 住所: 京都府京都市左京区銀閣寺町2
- (2) 臨済宗 相国寺派 東山 慈照寺
- (3) 百寺巡礼 第三卷 第二十二番
- (4) 参拝日: 2013年11月2日
- (5) 写真:



向月台 (砂のオブジェ)



東求堂から観音殿（銀閣）を望む



月待山展望所から



観音殿（銀閣）

(6) ポイント：

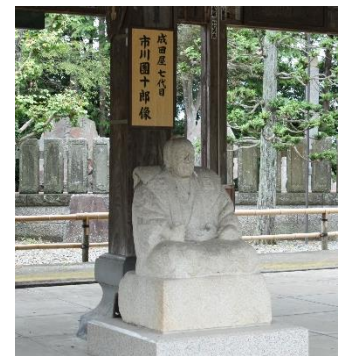
- 足利八代将軍義政の山荘。金閣は三代義満。銀閣は完成前に義政が他界。銀箔は貼られなかった。
- 東求堂、観音堂共に国宝。「銀閣」と呼ばれているのは観音堂。
- 応仁の乱、日野富子の時代。政治に弱い将軍は文化に逃げた。
- 金閣と比べると地味だが趣深い。自然との寄り添い方が良い。多分、義政の人生か。

(7) 感想：

- 中学校の修学旅行以降、何度も訪ねた。四季折々の自然の変化に銀閣の美しさがマッチする。
- 四国出張の帰り途、亡き長兄・父母の法事の前日、空いた時間に。相変わらずの雑踏だが、列が途絶えた時の静寂が良い。これぞ、古都・京都。先に逝った人を想う。法事の予習。心が仏教モードになる。
- 出会いと別れを考える場所。

## 28. 成田山（なりたさん）

- (1) 住所： 千葉県成田市成田1番地
- (2) 真言宗智山派 大本山
- (3) 百寺巡礼 第五巻 第四十五番
- (4) 参拝日： 2013年9月28日
- (5) 写真：



額堂にある成田屋（団十郎）像



総門から仁王門（重文）



大本堂前に煙立つ



三重塔と一切経堂



正月の初詣で客は日本第二位（大本堂）



成田山公園から平和大塔

(6) ポイント：

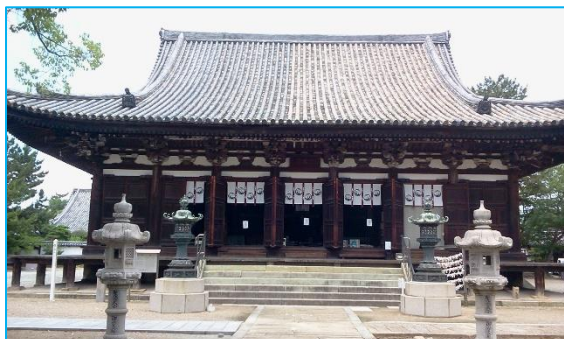
- 千葉に来てから30年、米国駐在時以外はずっと初詣でに参っているが、こんな形では2回目。
- 流石に大規模。境内も広大で建造物も多い。歴史的な意味より、今現在のお寺。
- こんな時期でも多くの参拝客。真言宗でも、ここまで今日現在への御利益を謳うのは少ない。
- 大本堂内で護摩祈祷を初めてみた。多くの信者が手荷物を預けて祈祷して貰う。
- 市川団十郎とこの寺の関連は面白い。子供ができなかった初代団十郎が千両の願かけをして二代目を得た。その像が額堂にある。庶民の信仰が強い理由でもある。
- 多くの信者に支えられて、平和大塔が1984年建立、総門は2006年竣工、まだまだ改修も続く。

(7) 感想：

- 成田山と言えば初詣で、あの人人人の正月。千葉に来てからはずっとこのお寺とある、我が人生。
- 正月には歩かないが、成田山公園も広々して緑が多い。ゆっくり散歩するには最高の場所。
- 現在も正に信仰の対象、お布施もお守代も凄いのだろう。入園料も、拝観料も要らない。周りには幼稚園から高校までの学校法人、福祉法人、仏教研究所などなど、一大ビジネスエリアになっている。
- 高浜虚子や倉田百三など、文学の香りも高い。折しも成田山公園の書道美術館で河東碧梧桐の俳句と書の展覧会をやっていた。静寂の中で、ゆっくりと。者は判らないが、俳句が心地よい。

## 27. 鶴林寺 (かくりんじ)

- (1) 住所： 兵庫県加古川市加古川町北在家424
- (2) 天台宗 刀田山 鶴林寺
- (3) 百寺巡礼 第六巻 第五十七番
- (4) 参拝日： 2013年6月27日
- (5) 写真：



本堂 (国宝)



太子堂 (国宝)



三重塔

(6) ポイント：

- 「播磨の法隆寺」と呼ばれる。聖徳太子開基伝承あり。一つ一つはやや小ぶりだが大伽藍を有する。
- 本堂は本瓦葺入母屋造り。室町時代のもの。国宝。秘仏の薬師如来は60年に一度公開される。
- 太子堂は檜皮葺き。平安時代のもの。やはり国宝。堂内には九品来迎図と仏涅槃図が描かれていたが、煤で見えなかった。昭和51年になって赤外線カメラで捕えられ、再現されたものが宝物館にある。
- 太子堂にあった聖徳太子像(秘仏)と聖観音像が宝物館にある。聖観音は法隆寺の夢違観音とか薬師寺の仏頭を思い起こさせる美しい像。「あいたた観音」と呼ばれている。

(7) 感想：

- 播磨の田舎に第二の法隆寺がある。伽藍配置など、ミニ法隆寺。国宝の建築物はなるほどと唸らせる。
- 聖徳太子信仰は関西に広がっている。太子堂にあった秘仏太子像は写真でみると長髪で珍しい。年に一度は公開されているようだ。
- 平日の初夏の一日。出張帰りに立ち寄る。正に静寂。

### 26. 亀山本徳寺 (かめやまほんどくじ)

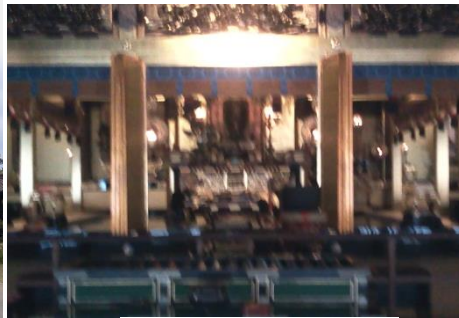
- (1) 住所：兵庫県姫路市亀山324
- (2) 浄土真宗 本願寺派 霊亀山 亀山本徳寺
- (3) 百寺巡礼 第六巻 第五十八番
- (4) 参拝日：2013年6月27日
- (5) 写真：



大広間の天井画  
花曼荼羅



本堂



本尊 阿弥陀如来



蓮如堂

(6) ポイント：

- 蓮如開基。転々とした歴史。元々は英賀（あが）城下にあった。秀吉が移転。
- 本堂は明治元年焼失。新撰組が屯所とした京都西本願寺の北集会所を移築したもの。刀傷の残る柱も。

(7) 感想：

- 静かなお寺。一人の女性が留守番。浄土真宗はオープン。拝観料も不要。毎朝、お勤めが行われている。廊下など非常に綺麗に掃除されている。信徒の信仰の熱さが伺われる。
- 大広間の天井画は素晴らしい。鹿島一族の石川ヨシ子という画家が平成8年に描いた。「花曼荼羅」という言葉が良い。仏の曼荼羅も良いが、花々の曼荼羅も魅力的。ゆっくり休めそう。84種の花々が美しい。

### 25. 高德院 (こうとくいん)

- (1) 住所：神奈川県鎌倉市長谷4-2-28
- (2) 浄土宗 大異山 高德院 清浄泉寺
- (3) 百寺巡礼 第五巻 第四十八番
- (4) 参拝日：2013年4月12日
- (5) 写真：



本尊がいわゆる鎌倉大仏



大仏は阿弥陀如来 (国宝)



与謝野晶子の歌碑

鎌倉や みほとけなれど  
 釈迦牟尼は 美男におわす  
 夏木立かな

(7) ポイント

- 開山・開基不明。元々は真言宗、その後臨済宗（建長寺系）となり、江戸時代に光明寺の末寺となり浄土宗。
- 鎌倉時代建立とは思われるが確かな証拠なし、元々は大仏殿があった。何度か、嵐で流されている。

(8) 感想

- 修学旅行のメッカ。今回はアジアからの観光客が多かった。アジア系の人達は、正面にいくと、自然に手を合わせる。日本の観光客よりも多いかも知れない。いつも、大声で騒いでいる印象が強いだけに好感をもった。
- 5年間も鎌倉に住んだと言うのに、誰かを案内して数回来ただけか。ゆっくりしたことも無かった。心地よい。
- 帰りに（当然）長谷寺にも寄った。十一面観音が輝く。花の寺、一年中色んな花が咲く。展望所からみる鎌倉海岸（由比ヶ浜）は美しい。
- 久しぶりに江ノ電に乗り、由比ヶ浜を歩いた。30歳から35歳を過ごした鎌倉。

## 24. 中宮寺（ちゅうぐうじ）

- (1) 住所：奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺北1-1-2
- (2) 聖徳宗 法興山 中宮寺
- (3) 百寺巡礼 第一巻 第七番
- (4) 参拝日： 2013年3月19日
- (5) 写真



法隆寺から中宮寺へ



本堂



会津八一の歌碑

みほとけのあごとひぢどに  
あまてらのあさのひかり  
のともしきろかも

(6) ポイント

- 大和三門跡尼寺の一つ。法相宗、真言宗泉涌寺派を経て、戦後聖徳宗の合流。
- 本堂は新しく昭和43年落慶。
- 本尊菩薩半跏像、天寿国曼荼羅繡帳は共に国宝。
- 半跏思惟像は、飛鳥彫刻の傑作。如意輪観音とも弥勒菩薩とも言われる。

(7) 感想：

- いかにも久しぶりの参拝だったか。この本堂は初めて。ということは何度か訪れたのは昭和41-43年。この頃、趣味は「古寺巡礼」などと書いていた。中宮寺の印象は小さな寺、この美しい半跏思惟像はもっと間近で見た。
- 木造とは思えない黒光り、「東洋の考える人」。
- 和辻哲郎や、亀井勝一郎の本を手に歩いていた。いかにも懐かしい。
- 京都広隆寺の弥勒菩薩と共に美しい仏像の代表。
- もう一つの国宝天寿国曼荼羅繡帳は教科書にも出てくるものだが、複製品が展示されている。素晴らしいものだったのだろう。

## 23. 法隆寺（ほうりゅうじ）

- (1) 住所：奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1
- (2) 聖徳宗総本山 法隆寺



- (3) 百寺巡礼 第一巻 第六番
- (4) 参拝日： 2013年3月19日
- (5) 写真

大講堂 (国宝)



最古の五重塔 (国宝)



金堂 (国宝) 釈迦三尊像



夢殿 (国宝) 救世観音

- (6) ポイント：
  - － 何と言っても歴史。五重塔や金堂、そして釈迦三尊像等々、飛鳥時代まで遡る。
  - － 建物も、仏像も国宝級ばかり。
  - － 聖徳太子からみの歴史には必ず舞台となる。
  - － (写真が撮れないのが残念だが) 仏像群も古い程やや縦長顔で日本人離れしている。
  - － 救世観音は非公開。フェノロサの歴史話。

- (7) 感想：
  - － 40年以上前以来の法隆寺。学生時代に古寺巡礼を趣味とした頃何度か訪れた。メインの建物以外は様子が変わって見える。
  - － オフシーズンだからか、意外な程静かな伽藍。飛鳥時代の建物が美しく立ち続けているだけで、ある種感動。
  - － 古いものの美しさ、そのレベルが別格。宗教面は勿論美術面でも世界に誇れるエリアだ。

## 2.2. 善通寺 (ぜんつうじ)

- (1) 住所：香川県善通寺市善通寺町3-3-1
- (2) 真言宗善通寺派総本山 屏風浦五岳山 誕生院 善通寺
- (3) 百寺巡礼 第十巻 第九十三番
- (4) 参拝日： 2013年3月16日
- (5) 写真：



早咲涅槃桜既に満開



金堂 (本堂) 本尊は薬師如来



重厚感 五重塔



御影堂 (太子堂)

- (6) ポイント
  - － 空海 (弘法太子) 誕生の地と言われる。

- 四国八十八か所 第75番 真言のメッカ。お遍路さんの姿が、日常。
- 伽藍は創建である東院（本堂）と空海生誕地とされる西院に分かれる。大きな寺。

(7) 感想：

- 高松で仕事を終え、年に一度の「安政柑を守る会」の収穫祭で因島に行く空いた時間に。
- 空海について知るにつれ、訪問してみたかった寺。なぜこんな地に、と思わせるような普通の日本の田舎。
- こんな所にも立派な五重塔が立つ。重厚な塔。
- 西院はお遍路さんのターゲット。弘法大師誕生の地。
- 何も無い春の平日、静かな境内を、お遍路さんと散歩する人々が歩く。
- 涅槃桜という早咲きの桜が満開。白くて派手さはないが、可憐。

## 21. 東大寺（とうだいじ）

- (1) 住所：奈良市雑司町 406-1
- (2) 華嚴宗 大本山 東大寺（金光明四天王護国之寺）
- (3) 百寺巡礼 第一巻 第十番
- (4) 参拝日： 2012年3月17日
- (5) 写真：



東大寺と言えば大仏



東大寺 南大門



東大寺 無条件の迫力



二月堂・三月堂

(6) ポイント：

- 修学旅行のメッカ、大仏様の寺。正式名、盧舎那仏。約15mの高さ。
- 世界最大の木造建築。とにかくそのスケールの大きさは何回来ても圧倒される。何故こんなにもでかいものを作らねばならなかったのか、その謎さえ解けない。
- 大好きな三月堂は今修理中。あの不空羂索観音や日光・月光菩薩は今東大寺ミュージアムに展示されている。すっきりはしているが、やはり法華堂の中のあの姿の方が良い。

(7) 感想：

- 日本のお寺と言えば、東大寺だろうか。五木寛之も百寺の中に入れざるを得なかった、という所だろう。でも、もしこれが静かな中での参拝ならやはり、厳かなのだろう、と思う。
- 大仏にも自ずと手を合わせる。それだけの迫力がある。
- 三月堂（法華堂）の仏像達、戒壇院の四天王など、大仏殿以外でも流石東大寺という建物・仏像は多い。これは国宝ですよ、と言われても、だから有難いのではなく、好きだから有難い、と言うものがないと何度も行く気にはならない。
- メッカでも良いものは良い。
- こうして周れば周るほど、なぜ百寺の中に奈良が十寺なのか、奈良ファンとしては納得できない。
- その足で新薬師寺に足を伸ばした。ここもこんな素晴らしい寺なのに・・・と。

## 20. 西本願寺（にしほんがんじ）

- (1) 住所：京都府京都市下京区(5)花屋町下ル門前町 60
- (2) 浄土真宗本願寺派本山 龍谷山本願寺
- (3) 百寺巡礼 第三巻 第二十七番
- (4) 参拝日： 2012年2月28日
- (5) 写真：



御影堂はまだ  
工事が続いていた



阿弥陀堂門



本堂 阿弥陀堂



本堂内は参拝・お経が絶えない

(6) ポイント:

- 正に現役の祈りの場。今、又話題になっている「親鸞」開山。
- 親鸞は南無阿弥陀仏の念仏による浄土真宗であり、本来寺は無かったが、娘の覚信尼や多くの弟子たちがこの廟堂を建てた。その後、蓮如が現れ、一層の発展を遂げる。
- 親鸞像のある御影堂は2011年に修復工事が終わった筈なのだが、まだ工事中で入れなかった。
- 京都三閣の一つ飛雲閣にも入れず(予約制だった)。やはり準備が必要。

(7) 感想:

- 思いついて立ち寄った。準備不足は否めず。
- 東西本願寺の歴史と、隆盛は凄い。親鸞・蓮如の偉大さを示す。念仏を唱えさえすれば誰でも極楽浄土へ行けるという浄土真宗の根本と、本願寺の隆盛はどうもマッチしない。
- 西本願寺御影堂の修復工事が終わり、今度は東本願寺の第工事が始まっている。東に寄るのは中止した。
- この煌びやかさは、やはり京都の寺か。

## 19. 東寺(とうじ)

- (1) 住所: 京都府京都市南区九条町1
- (2) 東寺真言宗総本山 八幡山教王護国寺
- (3) 百寺巡礼 第三巻 第二十四番
- (4) 参拝日: 2012年2月28日
- (5) 写真



南大門



金堂(国宝)



講堂(この中に立体曼荼羅が)



日本一(55m)五重塔



広い境内



大師堂(国宝)が良い

(6) ポイント:

- 京都駅に近い。新幹線から見える五重塔。この塔が美しい。

- 何といても講堂の立体曼荼羅。国宝ばかりの彫刻美の中で、おじけつく。
- 如来部、菩薩部、明王部、何れ劣らぬ迫力の像ばかり。金剛法・金剛宝菩薩に眼を奪われた。
- 空海（弘法大師）の偉大さを示す寺。大師堂の建物も落ち着く。大師像は非公開。

(7) 感想：

- 次男の義母の葬儀に訪れた京都。供養も兼ねて、訪れた。このシリーズ初めての京都。
- 「仏像は奈良、庭は京都」と思っていたが、この立体曼荼羅の仏像群には立ちすくんだ。空海と言う人は何という構想力の持ち主だったのか。圧倒される迫力。一つ一つの像が一寺の本尊であっても誰もが手を合わせるだろうに、と思わせる。金堂の本尊（薬師如来・日光・月光）も素晴らしいが、この曼荼羅には敵わない。
- 空海の風景を読み、ビデオも観た。でもこの立体曼荼羅は凄い。美の対象というよりも、自ずと宗教心を呼び起こす力がある。
- 良い供養になった。彼女の霊もこの曼荼羅の中に入れていければ・・・と祈った。

## 18. 中尊寺（ちゅうそんじ）

- (1) 住所：岩手県西磐井郡平泉町平泉衣関 202
- (2) 天台宗 東北大本山 関山（かんざん）中尊寺
- (3) 百寺巡礼 第七巻 第六十二番
- (4) 参拝日： 2011年9月12日
- (5) 写真



金色堂の隣の  
経蔵が美しい



まず金色堂前に到着



金色堂は覆堂の中で輝く



本堂（本尊は阿弥陀如来）

(6) ポイント：

- 2011年6月世界文化遺産に登録。これからより整備されていくのだろうが、「世界文化遺産」というにはやや整備が不十分か。海外からの訪問者には不親切か。（我々から見ても・・・）どうしても、奈良・京都・鎌倉と比較してしまう。
- 芭蕉の句。「五月雨の降りのこしてや光堂」とか「夏草や兵どもが夢の跡」など生まれた。雰囲気やよし。
- 金色堂は修復されて輝いているが、金閣寺の感動はない。修復技術にも差があったか。
- やはり、藤原三代（四代）の歴史が鍵。藤原清衡の力、武士の世の中に移っていく途中。輝ける奥羽。日本史の中での存在感は大きい。
- 奈良・京都のまねではなく、独自の文化を創り出そうとしたあと。頼朝が恐れた力。だからこそ悲劇か。

(7) 感想：

やっと訪れることができた。折しも世界遺産登録後すぐ。これからますます観光基地となっていくのだろう。秋の紅葉の頃の人出が想像される。東北大震災の見舞いを意識した登録という人もいる。今在るものの価値より、歴史の中にある藤原氏の価値の方が文化遺産という感じがする。鎌倉時代までは、京都・奥羽・博多が日本だった。藤原四代、源氏との関係、そして日本史の舞台から去っていく。美しい自然との調和は残っている。来れて良かった。



## 17. 山寺（やまでら）

- (1) 住所：山形県山形市大字山寺 4456-1
- (2) 天台宗 宝珠山阿所川院立石寺
- (3) 百寺巡礼 第七巻 第六十一番

(4) 参拝日： 2011年9月11日

(5) 写真：

弥陀洞

開山堂からの眺め



根本中堂



仁王門 (石段 1115 段)



開山堂と納経堂

(6) ポイント：

- ー 通称「山寺」。正しくは立石寺(りっしやくじ)。
- ー 「閑さや岩にしみいる蟬の声」(芭蕉)の舞台
- ー 奥の院までの石段。汗がでる。登った後の開山堂からの眺めが良い。田舎の山中。
- ー 東北には円仁(慈覚大師)開基と言われる寺が多い。天台宗。東北のお大師さん。東北の比叡山。

(7) 感想：

初めての東北の寺。安いツアーで中尊寺とセット。短い時間しか居られなかったが、でも、好天が何より。なぜこんなところにこんなお寺がと思うような山中。しかも比叡山で学んだ僧が開基。芭蕉の句で有名なようだが、修行の場としてはきつい。冬場を想像すると宗教の力を思い知る。四季を見たいと思う。自然と宗教、強い。

## 16. 四天王寺(してんのうじ)

(1) 住所：大阪府大阪市天王寺区四天王寺 1-11-18

(2) 和宗総本山 荒陵山(あらはかさん) 四天王寺

(3) 百寺巡礼 第六巻 第六十番

(4) 参拝日： 2011年9月7日

(5) 写真：



極楽門前には石の鳥居



伽藍配置は飛鳥時代から変わらず



五重塔



六時堂と石舞台

(6) ポイント：

- ー 聖徳太子による日本最古の官寺(異説もあり)。太子建立七大寺の一つ。
- ー 既存の仏教の諸宗派にはこだわらない全仏教的な立場から 1946年に和宗総本山として独立している。
- ー たび重なる災害で創建当初の姿はしのぶべくもないが、伽藍配置などはよく保持されていて、豪華。残っていれば、法隆寺と肩を並べる文化遺産であった筈である。規模の大きさなどはそのままで圧倒される。
- ー 聖徳太子の偉業の中の中心とも言えるか。仏教のみならず勉学の基地、医学の基地などであったようだ。

(7) 感想：

-地名としての天王寺は有名だが、これは四天王寺の略称。古寺としてより、大阪の地名として親しみがあつた。今は煌びやかな大寺。五重塔も上まで登れるものだから一気に登ったら、暫く足ががくがく。奈良の大きな寺の様に古代美術は感じないが、次々と新しく建立された建物や仏像をみると、歴史ではなく世の中に根付いた宗教心のようなものを感じた。

## 15. 大念佛寺 (だいにんぶつじ)

- (1) 住所：大阪府大阪市平野区平野上町 1-7
- (2) 融通念仏宗 総本山 諸仏護念院大源山 大念佛寺
- (3) 百寺巡礼 第六巻 第五十九番
- (4) 参拝日： 2011年9月7日
- (5) 写真：



山門



本堂



本堂内には大きな数珠



右手からの本堂が美しい

- (6) ポイント：
  - 大阪のお寺。融通念仏宗は知らなかった。開祖は良忍上人。元々は比叡山天台宗。でも念仏に目覚める。
  - 四天王寺に立ち寄った良忍が聖徳太子のお告げを受け創建と言われる。
  - 幸運にも午前のお勤めに当たる。30分のお経を静かに一人聞く。確かに、声が良くて朗々としていてうっとり。いわば、クラシックオペラのコンサートを聞いているよう。心洗われた。
  - 阿弥陀如来は良忍に「一人一切人 一切人一人」という言葉を授けたとか。これは、今の“one for all, all for one”。

### (7) 感想：

良忍像は見えなかったが、念仏を唱える姿は唄っているようだとか。確かに  
お勤めで聞いた経は、唄のようであった。誰ひとりいない本堂でじっと座って  
流れるような経を聞いた。じっと、自分を見つめる。

## 14. 百濟寺 (ひゃくさいじ)

- (1) 住所：滋賀県東近江市百濟寺町 323
- (2) 天台宗 釈迦山 百濟寺
- (3) 百寺巡礼 第四巻 第三十五番
- (4) 参拝日： 2011年6月6日
- (5) 写真：



本堂横の千年菩提樹



石段の参道が緑に映える



仁王門



ひっそりと本堂

(6) ポイント：

- － 湖東三山の一つ。秋の紅葉が有名。でも春夏の緑も美しい。
- － 聖徳太子開基と伝えられる。信長の焼き討ちに合い完全焼失と言われる。湖東の小叡山とまで言われたが、殆どを失った。江戸時代に再建された、赤門、山中の仁王門、本堂が残る。
- － 本尊は十一面観音。秘仏。お前立ちがある。－ 聖徳太子像が3体ある。二歳像は金堂に、他の2体（十六歳像と摂政像）は宝物館に。十六歳像が良い。
- － 五木はここで命を語り、環境問題を語り、「生きる」を語る。人間中心と、宗教のギャップを考える。千年菩提樹も完全に焼失したが、今またまばゆい命を輝かせる。

(7) 感想：

久し振りの寺巡礼。この寺には国宝は無いが、信長に徹底的に焼かれた歴史がある。今残るのは石段、そして自然。春のウイークデー、さすがに参拝客はまばら。孫を連れて来た。凶らずも限りある命と、それを引き継いで生きる命を思った。東北大震災で消えた多くの命。なぜ彼らの命は突然に終わったのか、なぜ自分は生きているのか。人間に宗教が必要となる、謎。良い時に良い場所に来た。

### 13. 浄土寺（じょうどじ）

- (1) 住所：広島県尾道市東久保町 20-28
- (2) 真言宗泉涌寺派大本山 転法輪山大乗院 浄土寺
- (3) 百寺巡礼 第八巻 第七十九番
- (4) 参拝日： 2011年3月8日
- (5) 写真：



山門



国宝 本堂



国宝  
多宝塔



眼下に尾道水道

(6) ポイント：

- － 聖徳太子開基と伝えられる。鎌倉時代に定證上人により再興。眼下に尾道水道を臨む山寺。
- － 本堂・多宝塔の配置が美しく、ゆったり感を与えてくれるが実は急な斜面に立つ。
- － 聖徳太子像が3体ある。二歳像は金堂に、他の2体（十六歳像と摂政像）は宝物館に。十六歳像が良い。
- － 本尊十一面観音は秘仏。厨子の中。
- － 宝物館に何故か源氏物語を描いた扇面を貼り付けた絵屏風がある。金色も鮮やかに残っていて非常に美しい。

(7) 感想：

人吉、因島ツアーの帰りに立ち寄る。ウイークデーだということに戌の日も重なって多くの参拝者。張り紙や受付の人などを見ると、布教活動にも熱心なお寺のよう。尾道の寺というといつも千光寺だが、実は多くの寺群があり。寺巡りの道も尾道らしい石段が多く、楽しい。眼下に海、向うに瀬戸内海の島々。陸路を選べば必ず通る場所だった尾道ならではの寺院群。好天にも恵まれて、来て良かった、と思った。このエリアの真言宗は強力。空海（弘法大師）偉大なり、と思わせる。

### 12. 明王院（みょうおういん）

- (1) 住所：広島県福山市草戸町 1473
- (2) 真言宗大覚寺派
- (3) 百寺巡礼 第八巻 第八十番
- (4) 参拝日： 2011年3月7日
- (5) 写真：



正面石段



国宝 明王院本堂



国宝 五重塔

- (6) ポイント：
  - － 前身「常福寺」は空海の創建と伝えられている。平安時代か。
  - － 「日本のポンペイ」と云われる川底に埋もれた草戸千軒町が門前町として栄えた。
  - － 本尊十一面観音像は拝めず（秘蔵とのこと）。
  - － 本堂と、五重塔は国宝。特に五重塔が美しい。室生寺の五重塔を大きくしたような形。屋根のスロープか。

(7) 感想：  
 人吉、因島ツアーの帰りに立ち寄る。ウイークデーでひっそり。とにかく五重塔が美しい。雨も降りそうな天気の中、隣の草戸稲荷神社の裏山を登る。ここで一人だけ散歩の人に出会った。展望台という割にはそれ程の見晴らしではなかった。草戸千軒という町が、全て芦田川に沈んだという話のほうが興味深い。そこで発掘された石群が並べられている。

## 11. 久遠寺（くおんじ）

- (1) 住所：山梨県南巨摩郡身延町身延 3567
- (2) 日蓮宗祖山（総本山） 身延山妙法華院久遠寺
- (3) 百寺巡礼 第五巻 第四十九番
- (4) 参拝日： 2010年11月15日
- (5) 写真：



三門から奥に菩提梯



久遠寺 本堂



新しい五重塔



身延山頂 奥の院 思親閣

(6) ポイント：

- ― 鎌倉時代日蓮により開山。晩年を過ごす。今の東京で生涯を閉じたが遺言でこの寺に墓地。
- ― 日蓮宗総本山。各地域からの門徒衆のお参りが引きも切らず続く。
- ― 日蓮は拡張する仏教宗派を法華経を唯一の総合経典とした。「南無妙法蓮華経」を唱える。
- ― ロープウェイで登る身延山山頂には恩親閣がある。やや曇り。晴れていれば富士・房総も。房総生まれの日蓮はここで親を思った。だから恩親閣。
- ― 一昨年、五重塔完成と共に便利なエレベータが出来た。でも三門からの急な石段・菩提梯は美しい。

(7) 感想：

田舎に住む姉は日蓮宗の信徒。日本中の日蓮宗の寺巡りを楽しみにしている。以前からこの総本山に一度訪れる様勧められていた。確かに多くの信徒が日々お参りしている様子。五木寛之は菩提梯を息を切らせて上ったようだが、今は駐車場からエレベータが運んでくれる。お年寄りや不自由な参拝者には何よりだろうが・・・  
またまた宗教の力を感じたお寺。

## 10. 浅草寺 (せんそうじ)

- (1) 住所：東京都台東区浅草2丁目3番1号
- (2) 聖観音宗総本山 金龍山浅草寺
- (3) 百寺巡礼 第五卷 第四十一番
- (4) 参拝日：2010年10月29日
- (5) 写真：



雷門



宝蔵門



本堂

(6) ポイント：

- ― 浅草の観音さま。何度も行ったが、「お寺巡り」の一つという意識はなかった。東京観光名所の一つ。
- ― Weekdayでも仲見世通りは観光客でいっぱい。外国人観光客も多い。日本・江戸土産買い物ベスト。
- ― 隅田川で網にかかった観音様(秘仏)が本尊とか。7世紀頃の話。
- ― 寺は何度も焼け、現在の本堂、五重の塔は江戸時代の場所。戦争で焼失。戦後のもの(コンクリート製)。
- ― 近代は浅草が庶民の盛り場として発展。そのシンボル。賑々しさが売り。
- ― 境内の浅草神社は三社祭で有名。

(7) 感想：

東京に仮住まいしていた時は隅田川沿いだった。浅草も時々散歩した。いかにも江戸の下町の情緒を残す。なぜいつ行ってもこんなに観光客がいるのか不思議。おそらく、ここが仏教のお寺と違って来ている人も少ないかも知れない。庶民のたまり場であり続けているのが凄い。これも仏様のご利益か。

## 9. 柴又帝釈天 (しばまたたいしゃくてん)

- (1) 住所：東京都葛飾区柴又七丁目
- (2) 日蓮宗 経栄山題経寺(きょうえいざんだいきょうじ)
- (3) 百寺巡礼 第五卷 第四十四番
- (4) 参拝日：2010年10月13日

(5) 写真：



二天門



帝釈堂



本堂周りの彫刻ギャラリー

(6) ポイント：

- － 寅さんでお馴染みの葛飾柴又の帝釈天。姓は車、名は寅次郎で有名。
- － 日蓮宗の名刹。本尊の帝釈天は板本尊。幸いにもお参りできた（庚申さんだったか・・・）
- － 裏側の彫刻ギャラリー、その又後方の大庭園（邃溪園）は一見の価値有り。
- － 彫刻は江戸時代の彫物師の力作。五木はルネサンス彫刻に匹敵と言っている。
- － 庭園の回廊も良い。ゆっくり歩くと日本庭園の価値倍増。

(7) 感想：

寅さんで有名になった寺、位の認識しかなかったが、成る程百寺に選ばれるだけのことはある。庶民であることの喜び、誇りを感じさせてくれる寺。

## 8. 建長寺（けんちょうじ）

- (1) 住所：神奈川県鎌倉市山ノ内8
- (2) 臨済宗建長寺派大本山 巨福山建長興国禅寺
- (3) 百寺巡礼 第五巻 第四十六番
- (4) 参拝日：2010年10月8日
- (5) 写真：



三門（三解脱門）



樹齢760年 柏楨



半僧坊 天狗

(6) ポイント：

- － 鎌倉五山第一位。貫禄。禅寺の祖。
- － 北条家に支えられた臨済宗。武士達が座禅を組む姿が思い浮かぶ。
- － 流石に広い境内。柏楨（びやくしん）の木は樹齢760年とか、歴史の重みを生きて示す。
- － 総門、山門、仏殿、法堂、梵鐘など、造り、見所は円覚寺と類似。いかにも禅寺。仏達もあるにはあるが、禅宗の場合、祈るといふより、自分自身が突き詰める方に主体があったのだろう。
- － 天山ハイキングコースの入り口、半僧坊まで歩いた。「お寺の鎮守様」。神仏混交の面白い例。でも手を合わせ、柏手も打つ。富士は見えなかったが、清々しい汗。

(7) 感想：

禅は庶民のものからのスタートではない。禅寺には高尚な落ち着きがある。鎌倉後期、北条時代、満たされた武

家の最後の望みは心の安寧だったか。久し振りの鎌倉は昔を思わせるだけでなく、人の一生と生きるよすがを考えさせた。

## 7. 円覚寺（えんかくじ）

- (1) 住所：神奈川県鎌倉市山ノ内409
- (2) 臨済宗大本山 瑞鹿山大円覚興聖禅寺
- (3) 百寺巡礼 第五巻 第四十七番
- (4) 参拝日：2010年10月8日
- (5) 写真：



山門



舎利殿は修理中



伝説の白鹿洞

### (6) ポイント：

- － 鎌倉は武士の都。禅宗の街。きらびやかさは無いが、武道に支えられた厳しさを感じる。奈良の仏達、京都のあでやかな建物や庭園に比して、木目を感じる柱、植物でも木や森、そして山・岩を感じる。
- － 今や首都圏のハイレベルベッドタウン。北鎌倉は明治から文士の町。自然とのマッチングが良い。
- － 切り通しに向かう谷間を横須賀線が走る。れっきとした大都会の郊外でありながら、静か。
- － 国宝舎利殿。近づけないのが残念。なぜか昔の切手図案の中で印象に残る。
- － 同じく国宝の洪鐘のある見晴台に久し振りに上がり、抹茶を一服。東慶寺側を臨む。木々や雑草が大きくなった気がした。

### (7) 感想：

久し振りの鎌倉。5年間住んだとは言っても寺巡りなど殆どしなかった。勿体無いことをした、と悔やむ。文化人の寺、明治の頃のこの寺を想像しながら、昔の人は良い時間の過ごし方をしたものだ、と思う。

## 6. 増上寺（ぞうじょうじ）

- (1) 住所：東京都港区芝公園4-7-35
- (2) 浄土宗大本山 三縁山広度院増上寺
- (3) 百寺巡礼 第五巻 第四十二番
- (4) 参拝日：2010年10月5日
- (5) 写真：



大門



本堂と東京タワー



徳川家 霊廟 門

### (6) ポイント：

- － 大都会の中の大寺。室町時代の開山。江戸時代に徳川家菩提所。
- － 二代秀忠、六代家宣、七代家継、九代家重、十二代家慶、十四代家茂、皇女和宮などの霊廟。
- － すぐ後方に東京タワー。美しいコントラスト。
- － 本堂には阿弥陀像。静か。

(7) 感想：

本願寺と共に東京のど真ん中の大きな寺。でもいざ本堂に入ると、静か。数人の参拝者が静かに座っている。何とも落ち着く。汗をかきかきサラリーマンが二三人、でもお賽銭をチャリーンと入れて合掌して去る。良いものだ。

## 5. 築地本願寺（つきじほんがんじ）

- (1) 住所：東京都中央区築地 3-15-1
- (2) 浄土真宗本願寺派本願寺築地別院
- (3) 百寺巡礼 第五巻 第四十三番
- (4) 参拝日： 2010年10月5日
- (5) 写真：



まるで大都会のイスラム寺院



内部：須弥壇には阿弥陀如来

(6) ポイント：

- － 西本願寺派。もともとは浅草横山町にあつて「江戸浅草御坊」。築地に移つて「築地御坊」。
  - － 東京築地市場のすぐ隣。江戸大火で焼失。埋立地へ。
  - － 関東大震災で本堂焼失。東大・伊東忠太設計により古代インド仏教様式で再建。
  - － これがお寺か、とまず驚く。本堂に入ると心が鎮まる。平日でも参拝者が絶えない。
  - － 最初の埋め立てに佃島の漁師が貢献。家康が大阪から連れてきた、とか。面白い歴史。
- (7) 感想：何回か訪れたことはあつたが、仏教の寺としては初めて。大都会の中に、でも中は厳かに、静かに。じっと座っているだけで、安らぐ。

## 4. 薬師寺（やくしじ）

- (1) 住所：奈良市西ノ京町 457
- (2) 法相宗大本山 唐招提寺
- (3) 百寺巡礼 第一巻 第三番

(4) 参拝日：2010年9月7日

(5) 写真：



薬師三尊像が輝く金堂

薬師寺と言えば東塔・凍れる音楽



西ノ京大池から臨む薬師寺

(6) ポイント：

- － 相変わらずの繁栄振り。改築も進む。高田好胤師の努力の成果は大きい。世の中の見目を変えた。
- － いよいよ今年末から東塔も改築が始まるとか。果たして、東西両塔が並んで輝く日を生きて迎えられるか。初めて訪れた時には西塔はなかった。正に人生と共にある三重塔の歴史。
- － 日光・月光も、聖観音も東京で観た。それはアートを観る目。こうして金堂や、東院堂で見ると、祈りの対象。やはり仏像を見る時は心が大事。
- － 初めて新しい玄奘三蔵院を見る。平山郁夫の壁画の素晴らしさにため息。

(7) 感想：

このお寺との歴史も長い。行く度に建物は新しくなり、新築物も増えていく。古さが無くなっていくと嘆くことはない。平城京の時代はこのように輝いていたはずだから。輝いていてもほっと落ち着く。

### 3. 唐招提寺（とうしょうだいじ）：

(1) 住所：奈良市五条町13-46

(2) 律宗総本山 唐招提寺

(3) 百寺巡礼 第一巻 第四番

(4) 参拝日：2010年9月7日

(5) 写真：



南大門から金堂



金堂、エンタシスの柱



鑑真和上廟

(6) ポイント：

- － 金堂改築成る。久しぶりの参拝。大仕事を思わせないいつもの薨。
- － 鎮座する仏様達はいつもの眼差し。大きな十一面千手観音には現世での救いを、中央の盧舎那仏には未来永劫の安寧を祈る。
- － この寺と言えば鑑真。廟に参る。長い長い歴史の中の今、一瞬を思う。
- － 戒律に厳しい律宗の総本山、日本でも少なくなっているらしい。

(7) 感想：

猛暑の中、汗を拭き拭き、でもやっと改造なった金堂を訪ねた。この寺には何回目のお参りだろうか。青春の苦悩が預けてある。人生にもっと厳しくあるべきか。

## 2. 石山寺 (いしやまでら) :

- (1) 住所：滋賀県大津市石山寺一丁目
- (2) 東寺真言宗 石光山石山寺
- (3) 西国三十三所 第十三番札所
- (4) 百寺巡礼 第四巻 第三十二番
- (5) 参拝日：2010年8月30日
- (6) 写真：



東大門

多宝塔と珪灰石の岩盤



蓮如堂 (真言なのに)

### (7) ポイント：

- 奇石・岩が印象に残る。天然記念物、珪灰石とのこと。化学的には大理石と同じ。奇岩の上に立つ国宝多宝塔は美しい。
  - 紫式部の源氏の間のみならず文学の匂いのするお寺。昔から女人の憧れの対象でもあったようだ。
  - 浄土真宗蓮如のゆかりも不思議。母の伝説とか。この寺そのものは真言宗、良辨僧正の開基。
  - 本尊は如意輪観音。秘仏。紐を通して握手できる。
  - 近江八景の一つ、石山の秋月。月見亭の建物もよい。入れないのが残念。瀬田川が望める。
- (8) 感想： 重厚感のある立派なお寺。庭も良い。季節の花も多彩。光堂の隣には東レの物故者が祀られている。

## 1. 三井寺 (みいでら) :

- (1) 住所：滋賀県大津市園城寺町
- (2) 天台宗 総本山園城寺 (三井寺)
- (3) 西国三十三所 第十四番札所
- (4) 百寺巡礼 第四巻 第三十一番
- (5) 参拝日：2010年7月18日
- (6) 写真：



仁王門



金堂



観音堂から琵琶湖

### (7) ポイント：

- 天台宗総本山延暦寺との複雑な関係の歴史。何度も延暦寺の焼き討ちにあう。その度に僧侶達は金堂内の仏像を搬出、そして再建を繰り返す。
- 本尊は弥勒仏。金堂には多くの仏像がある。全て火事の度に運び出されたとか。

- － 近江八景（栗津の晴嵐、瀬田の夕照、石山の秋月、矢橋の帰帆、唐崎の夜雨、堅田の落雁、比良の暮雪）の一つ、三井の晩鐘。（300円で打った。）
  - － 古い鐘は、弁慶が引き摺ったというもので、「弁慶の引き摺り鐘」として霊鐘堂にある。
  - － 關伽井屋の泉（天智、天武、持統、3天皇の産湯に使われたとの言い伝え）の湧き水の音も良し。
  - － 観音堂まで行くと琵琶湖の見晴らし。
- (8) 感想： 立派なお寺。滋賀県と言えば最澄の天台宗だが、比叡山以降は実に複雑な歴史があって面白い。